

2019年度

事業報告書

社会福祉法人 聖ヨハネ会

# 社会福祉法人聖ヨハネ会

## 基本理念

カトリックの精神に基づき、永遠の生命を有する人間性を尊重し、「病める人、苦しむ人、弱い立場の人」に奉仕します。

## 基本方針

1. 援助を必要とする人々をかけがえのない存在として関わり、人間の尊厳にふさわしい医療または福祉を追求しながら、共にいのちの質を高め合う全人格的な援助を行います。
2. 社会福祉の事業として、良質なサービスを提供し、公正に運営します。
3. 法令及び規程に則り、事業を運営します。
4. 地域社会に立脚した事業として、地域の福祉または医療に貢献します。

## 職員の心得

1. 私たちは法人の理念を理解し、その具体的な実現に努めます。
2. 私たちは自己の使命を認識し、その職能の専門性を十分に発揮するように努力し、各々が役割に応じた自己啓発に努めます。
3. 私たちは社会福祉事業である各施設を相互に理解のもとに、連携、協力に努めます。

## 活動の理念

病に苦しむ人、ハンディを負った人、自立の困難な人の隣人となって、援助の手を差しのべ、その必要に応じて最善を尽くします。

# 2019 年度事業報告

## 目 次

一	法人本部事業報告	・ ・ ・ ・ ・ 2
二	事業経営	・ ・ ・ ・ ・ 8
	1 障害福祉部門	・ ・ ・ ・ ・ 8
	2 高齢福祉部門	・ ・ ・ ・ ・ 29
	3 医療部門	・ ・ ・ ・ ・ 65
	4 公益事業部門	・ ・ ・ ・ ・ 78
三	理事会	・ ・ ・ ・ ・ 83
四	評議員会	・ ・ ・ ・ ・ 85
五	経営会議	・ ・ ・ ・ ・ 86

# 一 法人本部事業報告

## 【はじめに】

今年度は中期経営計画（平成 29 年度－31 年度）の最終年であった。社会福祉法の一部改正が全面施行され、経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務といった改正内容に対し、実践するステージであるという認識のもと、各テーマを持って取り組んできた。

また、地域包括ケアシステムの構築について、これまで以上に法人内の連携が必要という認識のもと、経営会議で具体的な連携イメージを作り、そこに各事業所がどのように関わっていくかを構想し、現場レベルへ落とし込んでいくという作業にも着手した。

その検討の中で、2025 年問題・2040 年問題を見据えた状況を医療や介護分野で考えた場合に、法人としての財務状況を整え、将来に対してどう展開していくのかということ考えた一年でもあった。また障害福祉部門ではこれまで進めてきた事業展開を振り返り、地区ごとの福祉資源の在り方を検討した年でもあった。

そして、年度末には新型コロナウイルスという問題が発生し、利用される方々や職員とその家族等、地域の生活を守りつつ安全を確保しなければならないという難しい舵取りをすることとなった。本件は新年度にも続いていくものと思われる。

## 【事業報告】

- 1 理事会において、理事長及び業務執行理事の業務執行状況を報告した。（6 月及び 11 月）
- 2 会計監査人による 2019 年度の会計監査を実施した。
- 3 所轄庁への現況報告書を整備した。また財務規律の強化として作成義務のある財務諸表等電子開示システムに関する各種データを作成し、社会福祉充実残額を算出した。
- 4 桜町病院の病児病後児保育室「さくらんぼ」を開設した。

総工費：30,289,400 円（工事請負費、測量費、設計監理費等）

### 5 法人機能の強化

#### (1)サービスの質の向上

(ア) 定款によって定められた「運営協議会」の第五回を 2019 年 7 月に、第六回を 2020 年 1 月に開催した。利用者家族や民生委員から構成される協議会で、要望や意見を聴く機会となり今後のサービスに反映していくこととなった。

開催日：第五回 2019 年 7 月 29 日（月）10：30－11：30

第六回 2020 年 1 月 27 日（月）10：30－11：30

(イ) 法人内の全事業所を対象とした研修会を開催した。

○開催日：2019 年 7 月 12 日（金）18：00－20：00

場 所：本館戸塚ホール

研修名：お金にまつわるセミナー

講 師：みずほ銀行小金井支店

参加者：桜町病院、桜町高齢者在宅サービスセンター、障害福祉部門

東京事業所、障害福祉部門山梨事業所から計 19 名

○開催日：2019年9月11日（水）18：00－19：30

場 所：本館戸塚ホール

研修名：介護現場でのハラスメント

講 師：大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉科 古市孝義氏

参加者：桜町病院、桜町聖ヨハネホーム、桜町高齢者在宅サービスセンター、  
本町高齢者在宅サービスセンター、障害福祉部門東京事業所、障害  
福祉部門山梨事業所から計 33 名

○開催日：2019年10月3日（木）18：00－19：30

場 所：本館戸塚ホール

研修名：福祉施設職員のストレスケア

講 師：東洋大学 助教 関屋光泰氏

参加者：桜町病院、桜町聖ヨハネホーム、桜町高齢者在宅サービスセンター、  
本町高齢者在宅サービスセンター、障害福祉部門東京事業所から計  
9 名

(ウ) 法人内に有する機能をお互い理解し、「コラボレーション」することで、患者さんや利用者さん、地域により貢献できるようになるのではという課題に対応するため、「コラボヨハネ」というチームを結成して進めていくこととした。今年度は地域包括ケアシステムや地域共生社会と言われる中で、テーマを絞り、まずは「認知症」をテーマとした医療と介護の連携を検討しパンフレットを作成した。

## (2)地域における公益的な取組の推進

(ア) 関係団体（全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会、小金井市社会福祉協議会等）が主催する連絡会等へ参加し、法人間の連携や広域的な取り組みに協力した。

○開催日：2019年5月20日（月）15：00－17：00

場 所：商工会館会議室

会議名：2019年度第1回協議員総会

主 催：全国福祉医療施設協議会

○開催日：2019年7月2日（火）15：30－17：30

場 所：全国社会福祉協議会会議室

会議名：2019年度第1回総務委員会

主 催：全国福祉医療施設協議会

○開催日：2019年11月6日（水）15：30－17：30

場 所：全国社会福祉協議会会議室

会議名：2019年度第2回総務委員会

主 催：全国福祉医療施設協議会

○開催日：2019年11月19日（火）11：00－12：00

場 所：新横浜国際ホテル

会議名：2019年度第2回協議員総会

主 催：全国福祉医療施設協議会

○開催日：2019年11月6日（水）～7日（木）

場 所：新横浜国際ホテル

- 内 容：第 30 回全国福祉医療施設大会  
主 催：全国福祉医療施設協議会
- 開催日：2020 年 2 月 28 日（水）10：00－12：00  
場 所：全国社会福祉協議会会議室  
会議名：2019 年度第 3 回総務委員会  
主 催：全国福祉医療施設協議会
- 内 容：東京都社会福祉協議会医療部会  
場 所：飯田橋セントラルプラザ  
開催日：第一回 2019 年 5 月 15 日（水）  
          第二回 2019 年 7 月 17 日（水）  
          第三回 2019 年 9 月 18 日（水）  
          第四回 2019 年 10 月 16 日（水）  
          第五回 2020 年 1 月 15 日（水）
- 内 容：東京都社会福祉協議会経営者協議会  
場 所：中野、飯田橋  
開催日：第一回 2019 年 4 月 22 日（月）  
          第二回 2019 年 7 月 24 日（水）  
          第三回 2019 年 9 月 20 日（金）  
          第四回 2019 年 11 月 27 日（水）  
          第五回 2020 年 1 月 22 日（水）  
          総会 1 2019 年 5 月 29 日（水）  
          総会 2 2020 年 2 月 26 日（水）
- 内 容：小金井市社会福祉協議会評議員会  
場 所：小金井市社会福祉協議会会議室  
開催日：第一回 2019 年 6 月 14 日（金）  
          第二回 2020 年 3 月 26 日（木）
- 内 容：小金井市社会福祉法人連絡会  
場 所：小金井市社会福祉協議会会議室  
開催日：第一回 2019 年 10 月 11 日（金）  
          第二回 2020 年 2 月 27 日（木）
- 内 容：桜町市民いこいの家運営委員会  
場 所：小金井市社会福祉協議会会議室  
開催日：第一回 2019 年 7 月 1 日（月）  
          第二回 2020 年 1 月 29 日（水）
- 開催日：2019 年 9 月 12 日（木）～13 日（金）  
場 所：とりぎん文化会館  
内 容：第 38 回全国社会福祉法人経営者大会  
主 催：全国社会福祉法人経営者協議会

### (3)信頼と協力を得るための情報発信

- (ア) 2019年度事業計画及び予算、2018年度事業報告及び決算を法人のホームページに掲載した。また各事業活動、提供するサービスの内容、公益的な取り組みの実施状況等について、広報誌等を作成し利用者や家族、地域住民に発信した。

### (4)人材の確保に向けた取り組みの強化

#### (ア) 魅力発信チームの活動

各職場の魅力や職員の活躍している状況等を法人内及びステークホルダー（利用者、家族、就業希望者、行政等）へ発信していくことを目的に、若手職員でチームを組成し取り組んだ。

- メンバー：法人本部、桜町病院、桜町聖ヨハネホーム、桜町高齢者在宅サービスセンター、障害福祉部門東京事業所、障害福祉部門山梨事業所から代表者各1名

活動：法人の魅力を SNS で発信していくことを検討し、facebook を活用した取り組みを進めている。

また、今年度より法人が実施していた「職場紹介」を担当し、職員の交流会を兼ねて開催した。

日時：2020年1月31日（金）18：00～19：30

場所：本館戸塚ホール

発表者：桜町高齢者在宅サービスセンター 訪問入浴 古賀直人

### (5)組織統治（ガバナンス）の確立

- (ア) 内部管理体制の基本方針に基づき、監事主導のもと外部機関の協力を得ながら、法人本部、高齢福祉部門、障害福祉部門についての危機管理規程、内部通報規程を整備した。

- (イ) 法人全体の経理に関する説明会を開催した。（個別開催）

○日時：2020年3月実施

出席者：各会計責任者・各経理担当者

### 6 事業運営に沿った規程類の整備について

経理規程、給与規程、就業規則、組織規程、運営規程等について改訂した。

### 7 職員交流を目的としたレクリエーションを実施した。

- レク名：北八ヶ岳ハイキング

開催日：2019年10月5日（土）

参加者：職員、ご家族含め19名

- レク名：第6回理事長杯争奪ボーリング大会

開催日：2019年11月17日（日）

参加者：20名

- 8 小金井訪問看護ステーション、聖ヨハネホスピスケア研究所、シニアハイムさくら及び障害者地域生活支援センター関連の、会計業務及び事務業務をサポートした。その他活動については、後述の経営会議の活動実績を参照されたい。

## 9 庶務・登記・監査事項等

### 定款変更認可申請

#### ●定款変更

- ① 2019年5月15日 障害福祉サービス提供場所追加による変更
- ② 2019年7月12日 名誉理事長職の設置による変更
- ③ 2020年3月24日 病児保育事業開始の為の変更、道路拡幅工事に伴う土地分筆による変更

#### ●基本財産処分承認

- ①2020年3月24日 一団地認定のための道路拡幅工事に伴う、土地の一部を小金井市道に帰属させるという理由で寄贈を行うため

#### ●基本財産担保提供承認

- ①2019年5月15日 短期入所事業において、感染症発症等があった場合にその影響を受けずに事業継続するために、別の事業場所を設置することとしたく、基本財産への変更手続きの為

## 2) 登記

登記年月日	登記内容
2019年6月29日	資産の総額 (5,949,677,770 円) (2019年3月31日変更)

## 3) 指導監査等

実施年月日	内容	監査人等
2019年5月24日	会計監査人監査報告、監事監査	監事、会計監査人
2019年5月29日	指定介護予防訪問看護事業所集団指導(介護保険)	東京都福祉保健局指導監査部 指導第三課
2019年8月1日	実地調査(富士吉田・明見聖ヨハネケアアービレッジ)	山梨県福祉保健部障害福祉課施設支援担当
2019年8月2日	東京都実地検査(小金井聖ヨハネケアアービレッジ)	東京都福祉保健局指導監査部指導第一課障害福祉サービス検査担当
2019年10月17日	小金井市実地調査(桜町高齢者在宅サービスセンター認知症対応型通所介護)	小金井市福祉保健部介護福祉課介護保険係



2019年10月17日	小金井市実地調査（桜町ケアマネジメントセンター 居宅介護支援事業所	小金井市福祉保健部介護福祉課介護保険係
2019年11月21日	社会福祉法人等指導監査（富士聖ヨハネ学園）	山梨県福祉保健部福祉保健総務課監査指導担当
2019年11月27日	医療法第25条第1項の規定の基づく立ち入り検査	東京都福祉保健局医療政策部
2019年11月29日	小金井市実地調査（本町高齢者在宅サービスセンター 一認知症対応型通所介護	小金井市福祉保健部介護福祉課給付係

4) 調査等

提出年月	提出内容	提出先
2019年5月	障害者雇用状況報告書	独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構
2019年6月	社会福祉法人調査票 現況報告書	東京都福祉保健局指導監査部指導調整課指導調整係
2019年7月	事業報告書	独立行政法人 福祉医療機構

## 二 事業経営

### 1. 障害福祉部門

#### 【 総 括 】

##### 部門の方針及び事業について

2019年度は課題である人材確保・定着や障害のある方々の重度化・高齢化及び強度行動障害者支援等に取り組んだ。GH再編については、令和元年7月に富士聖ヨハネ学園で虐待案件が発生したことで状況が変化した。自治体の調査が行われた結果、行政からの文書指導ではなく学園で自主的な改善への取り組みを実施し、定期的に報告することになった。それにより同じ法人である東京事業所のGH建設に対する補助事業が凍結となり、今年度進める予定であった障害福祉部門全体のGH再編も延期することになった。改善への取り組みについては、学園だけではなく、障害福祉部門全体で共有するとともにそれぞれの部署でも実施、年度末には他法人との合同研修も行った。この取り組みが評価され、年度末においてこの案件は終結ということになり、新規GH事業についても再スタートすることになった。学園だけではなく、一つのことが部門あるいは法人全体に関わることになることを再認識して今後に臨みたい。

年度末からコロナウイルス感染拡大が危惧されているが、必要とされる公共の福祉サービス事業として、利用者・職員の健康と安全・安心に配慮しながら事業継続に努めている。

##### 財務状況について

障害福祉部門は、東京都民及び山梨県民向けの事業を行っており、事業内容も入所・通所施設から相談支援まで幅広い。性質上採算が見合わない事業もあるが、障害者支援における聖ヨハネ会の実践等を勘案すると、どの事業も必要不可欠であるとともに相互の協働・補完関係にあることから部門全体で取り組むことを指針としている。昨年度一部事業について3か年における改善計画を作成し立て直しを進めているが、経営的には計画通り順調に推移している。

令和元年10月から新たな処遇改善制度が開始されたが、介護職を中心とした仕組みのため、対象とならない職員との乖離がさらに大きくなることへの懸念があった。部門としては職員全体を対象として、法制度を維持しながら乖離を最小限にすることで対応したが、このことで部門の費用負担も増加した。また、労働基準監督署による学園への宿日直等の是正勧告が行われた。これについては障害福祉部門全体のこととして対応、10月に業務の総合的な見直しの中で精算も行い35,000千円余の支出があった。

部門全体としては健全な財務状況を維持できているが、中長期の事業維持等を見据えて財務部門の強化を図っていきたい。

##### 中期経営計画について

法人理念に則した経営のために、利用率の向上と利用者のニーズに向き合った支援体制の構築に取り組んだ。利用者支援では利用者の重度化・高齢化が進む中で、可能な限り地域での生活を継続していくための仕組みが必要である。部門として長年培ってきた支援とあきらめない指針を継続しつつ今後も取り組んでいきたい。

今期の実績を踏まえた次期中期経営計画の大きな柱としては、「事業と財務を融合させた中長

期の事業見直し」「人材の確保と育成について」「地域公益活動」が大きな柱となる。これまでも取り組んできたがなかなか思うような結果が出せず、来年度以降の中期経営計画の柱として据え、今後も部門全体で対応していきたい。

## 拠点区分名：富士聖ヨハネ学園

I 事業所名	：富士聖ヨハネ学園
サービス区分名	：施設入所支援事業・短期入所事業・生活介護事業

### 【2019年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (2019年度)	利用率 (2018年度)	利用率 (2017年度)
生活介護 H31.4～	154人	142人	142人	92.8%	92.2%	93.0%
施設入所支援 H31.4～	122人	120人	120人	98.3%	98.3%	98.6%
短期入所 H31.4～	8人	—	5.5人	68.8%	68.8%	62.0%

平均年齢 51.2歳（最高 82歳、最低 21歳）  
 男女比率 74名（男子）：70名（女子） 51：49  
 平均在所期間 25.7年（最長 47.7年）  
 年間入所 3名 年間退所 3名（死亡） ※生活介護

### 【職員】

	2019年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2020年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
園長	1		1							1		1
副園長	0		1							0		0
生活支援員	74	34	108		4	4	5	4	9	70	33	103
事務員	4		4							4		4
栄養士・ 調理員	8	6	14			1		1		8	7	15
設備等	2	4	6			1		1		2	5	7
医師		1	1								1	1
看護師	1	2	3			1	2	1	2	1	1	2
医療事務員		1	1								1	1
合計	90	48	138		4	7	7	7	11	86	48	134

\*非正規職員については、拠点間異動を含むため合計数値が一致しない。

## 【施設運営状況】

学園では、利用者さんの豊かな生活をカタチにする取り組みを行っている。2019年度は年間を通して利用者の要望、相談、苦情を受け止めながら、こたえることのできるチーム、こたえることのできる職員（姿勢）であることを目標としていた。十分とは言えないが、第三者評価者や保護者のみなさまから、取り組みにたいする良い評価も頂くことができています。

また、利用者さんの健康支援を模索しながら取り組んでいるが、各部署による連携の取り組みが、診療所の体制の構築とともに「支援のかたち」になってきている。

さらなる取り組みを進めるために職員の確保は、大きな課題になっている。職員の確保ができないために支援に滞りが生じないように、採用への取り組みは最優先課題になっている。

## 【利用者支援状況】

7月に発生した虐待（通報）は、学園が取り組まなくてはならない課題を明確にした。学園では、虐待防止・権利擁護に係る取り組みを強化し、取り組みを行った。取り組みについては、各関係機関に報告をしながら指導、助言を頂き、その都度あらたな改善に取り組んだ。

加齢による疾患により3名の利用者がお亡くなりになっている。利用者さんのターミナル期の大切な時間を支援ため、学園内の連携（支援員、看護師、管理栄養士、作業療法士、理学療法士等）に取り組んでいる。（人生を支えるために私たちにできることを模索している。）

## 【施設整備状況】

転倒の原因の解明やてんかん発作の様子を確認等のために観察カメラの増設を行い、映像により転倒前後の様子（状態）を確認することができるようになった。

また、大雨や台風により雨水が排水しきれずに建物に浸水していたが、排水工事により浸水は改善されている。

敷地内の既存の建物の活用に取り組んでいるが、活用や処分（老朽化）の方向性を模索している。今後の事業の展開や日中活動の方向性を検討しながら整備に取り組みたい。

## 【教育研修】 施設支援事業部（富士聖ヨハネ学園）

日時	研修名	会場	出席者
4月1日	入職式、新任職員研修（法人本部）	法人本部 小金井	6名
4月2日3日	平成31年度新任職員研修	富士聖ヨハネ学園	6名
4月16日17日	強度行動障害者支援者養成研修	青少年センター	7名
4月26日	社会労務士による学習会	富士聖ヨハネ学園	3名
5月1日～	緊急時の吸引について（講師看護師）	富士聖ヨハネ学園	85名
5月10日	福祉従事者スキルアップ研修	ピュア総合	3名
5月28日	社会労務士による学習会	富士聖ヨハネ学園	1名
5月31日	福祉事業者スキルアップ研修	山梨県立博物館	3名
6月11日12日	強度行動障害者支援者養成研修	青少年センター	3名
6月12日	傾聴能力向上研修	山梨県福祉プラザ	1名
6月18日19日	障害福祉施設に勤務する看護職員研修	富士聖ヨハネ学園	1名
6月18日19日	強度行動障害者支援者養成研修	青少年センター	10名

6月20日	プラン設計と自己管理研修	山梨県福祉プラザ	2名
6月25日	サービス管理責任者更新研修	ピュア総合	1名
6月26日	雑談力向上研修	山梨県福祉プラザ	1名
6月27日	口腔ケアの健康管理と摂食嚥下のケア	山梨県福祉プラザ	3名
6月27日	トランスファー研修（園内）	富士聖ヨハネ学園	18名
7月3日	ロジカルプレゼンテーション研修	山梨県福祉プラザ	3名
7月10日	会議能力向上研修	山梨県福祉プラザ	2名
7月10日11日	関東地区知的障害福祉関係職員研修会	横浜ロイヤルパークホテル	4名
7月12日	お金にまつわるセミナー（法人研修）	富士聖ヨハネ学園	12名
7月17日18日	山梨県相談支援初任者研修	ピュア総合	1名
7月18日	コーチング研修	山梨県福祉プラザ	2名
7月19日	応急手当（AED）研修	富士吉田消防本部	4名
7月22日23日	知的障害福祉関係施設等研修会	パシフィコ横浜	5名
7月23日	ターミナルケア・グリーフケア	山梨県福祉プラザ	1名
8月2日	実際に分類して試食して理解する	ピュア総合	1名
8月8日	栄養ワンドーの理解	昭和大学	4名
8月19日	サービス管理者更新研修	ピュア総合	2名
8月23日	接触嚥下の方の看護	山梨看護研修センター	1名
8月28日	褥瘡ケア基礎（予防）	山梨看護研修センター	1名
8月27日28日	強度行動障害者支援者養成研修	青少年センター	8名
9月3日4日	強度行動障害者支援者養成研修	青少年センター	7名
9月11日	介護現場でのハラスメント（法人研修）	学園ソフィアホール	20名
9月11日	衛生推進大会（研修）	大月市民会館	1名
9月18日	応急手当（AED）研修	富士聖ヨハネ学園	18名
9月19日	虐待防止及び権利擁護の研修	富士聖ヨハネ学園	85名
9月22日	虐待しないために	大月市総合福祉センター	7名
9月24日	高齢者のためのフットケア研修	山梨県福祉プラザ	2名
9月25日	腰痛予防対策講習（研修）	甲府市総合市民会館	2名
9月26日	国際福祉機器展（見学研修）	ビックサイト国際展示場	6名
10月4日	医療・介護現場のチーム力	富士吉田市民会館	1名
10月18日	東社協 新任職員研修	研究社英語センター	2名
10月25日	レクリエーション技術研修	山梨県福祉プラザ	2名
11月11日～	認知症高齢者の理解の研修	山梨県福祉プラザ	1名
11月20日	安全・安楽な介護技術の習得研修	富士聖ヨハネ学園	30名
11月26日	高齢者のためのアクティビティ研修	山梨県福祉プラザ	2名
12月2日	摂食嚥下のメカニズムとその障害	ピュア総合	1名
12月6日	地域フォーラム	青少年センター	1名
12月10日11日	強度行動障害者支援者養成研修	青少年センター	7名
12月16日	摂食嚥下の対応法（歯科医師会）	ピュア総合	1名

12月17日18日	強度行動障害者支援者養成研修	青少年センター	5名
12月22日	医療介護連携 口腔機能管理と栄養管理	山梨県立文学館	2名
1月8日	強度行動障害者支援者養成研修	青少年センター	1名
1月16日	スーパービジョンを学ぶ	富士聖ヨハネ学園	5名
1月17日	感染症予防研修	富士聖ヨハネ学園	20名
1月28日29日	強度行動障害者支援者養成研修	青少年センター	5名
2月1日	5法人共催合同研修会 良い支援とは！	山梨市民会館	15名
2月14日	管理者に必要なメンタルヘルスクアの知識	東京都医師会館	1名
3月2日	意思決定支援にかかわる研修	東京都社会福祉医療センター	中止
3月3日4日	強度行動障害者支援者養成研修	青少年センター	中止

※その他学園全体において計64回の研修 延べ外部研修 157名、園内研修 280名参加

(各課で企画し取り組んでいる研修は除く)

3月～新型コロナウイルスの感染予防から研修会等は中止になる

## II 事業所名 : 富士聖ヨハネ学園 診療所

### 【施設運営状況】

嘱託医師の配置（契約）及び看護師の採用により医療的な支援の体制がほぼ構築できる状況にある。T医師から学園利用者の高齢化にともない、できれば消化器系の医師が配置されることが望ましいとの提案があり、来年度から消化器系の医師に月1回の診療を依頼することとしている。（現況 内科医T 週1回 精神科医W 週1回 精神科医F 月1回）

### 【利用者支援状況】

- ・日々の健康観察等により利用者が適切な医療支援を受けることができるよう取り組んだ。健康診断は、年2回実施し、結果を伝えるとともにその後のフォローを行っている。
- ・リハビリテーション委員会及び摂食嚥下カンファレンスの委員会に参加し、連携して利用者の支援を行っている。
- ・薬の管理、吸引の対応、応急手当等の研修会を、看護師を講師として実施している。
- ・支援課からの利用者の健康管理及び外部受診にかかわる相談に対応している。

### 【施設整備状況】

健康管理にかかわる器具を適宜購入する

課題として、医師から電子カルテ（医療請求）の導入を検討して欲しいとの依頼がある

## 拠点区分名：富士北麓聖ヨハネ支援センター

Ⅲ 事業所名	：富士北麓聖ヨハネ支援センター
サービス区分名	：生活介護事業・就労継続支援B型事業・短期入所事業

### 【2019年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (2019年度)	利用率 (2018年度)	利用率 (2017年度)
生活介護	35人	40人	31.5人	90.0%	81.4%	73.6%
就労継続支援B型	15人	10人	9.0人	60.1%	56.5%	66.3%
短期入所	3人	—	1.1人	36.8%	48.7%	80.0%

平均年齢 36.3歳（最高65歳 最低19歳）

男女比率 39名（男子）：21名（女子）

平均在所期間 2.8年（最長6年）

年間入所 1名 年間退所 1名

### 【職員】

	2019年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2020年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	9	9	18			2	2	2	2	9	9	18
看護師	2	1	3							2	1	3
調理員		1	1								1	1
合計	13	11	24			2	2	2	2	13	11	24

### 【施設運営状況】

開設から6年目を迎え、生活介護の契約者数、利用率共に増えている。就労継続支援B型については、就労系事業所が圏域において飽和状態ということもあり、利用者増とはいかないが、懸案であった収支バランスは、3か年計画に沿って順調に改善が図られてきている。

強度行動障害の激しい方から、医療的ケアの必要な方まで多様な利用者が通って来ているが大きな事故、感染症発症もなく運営が出来ている。

就労継続B型では、煎餅販路が拡大（鐘山苑・道の駅つる）し、売り上げが伸びている。

## 【利用者支援状況】

### 生活介護

- ・活動内容を多様化し、利用者が多様な活動に参加できるようにした。それにより活動が活性化していった。
- ・理学療法士によるリハビリテーションプログラムの作成を行い、看護師を中心として実践を行った。
- ・医療的ケアの必要な方を含めた利用者全員が4班に分かれて日帰り旅行に行くことが出来た。
- ・強度行動障害が著しく、他圏域の事業所において【やむを得ない措置】でサービスを受けていた女性の利用が開始された。

### 就労継続支援B型

- ・煎餅作りに、より多くの利用者が携われるようにした。
- ・新たに缶バッチの制作を始めた

## 【施設整備状況】

なし

## 【教育研修】 富士北麓支援事業部（富士北麓聖ヨハネ支援センター）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
5月30日～31日	日本トリック児童施設全国大会	ホテルモントレ ラ・スール	2名
8月9日	山梨県サービス管理責任者基礎研修	山梨県立青少年センター	1名
11月13日～14日	法人聖霊修道会研修	聖霊修道院	1名
12月6日	重症心身障害児者関係機関連絡会研修会	あけぼの福祉センター	2名
12月10日	強度行動障害支援者養成研修	山梨県立青少年センター	1名
12月13日	サービス管理責任者更新研修	山梨県立青少年センター	1名
1月16日	スーパービジョン研修	合同庁舎	3名
2月11日	強度行動障害を学ぶ	富士吉田市民会館	3名
2月13日	工賃向上セミナー	山梨県福祉プラザ	1名



<b>IV 事業所名</b>	：河口湖聖ヨハネケアービレッジ 明見聖ヨハネケアービレッジ 富士吉田聖ヨハネケアービレッジ
<b>サービス区分名</b>	：共同生活援助（介護サービス包括型）

**【2019年度利用状況報告】**

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (2019年度)	利用率 (2018年度)	利用率 (2017年度)
河口湖聖ヨハネ ケアービレッジ	10人	9人	8.9人	89.4%	99.3%	98.0%
明見聖ヨハネ ケアービレッジ	7人	6人	6.6人	94.5%	99.6%	98.2%
富士吉田聖ヨハネ ケアービレッジ	20人	19人	17.2人	86.2%	-	-

平均年齢 54.4歳（最高 72歳、最低 26歳）

男女比率 18名（男性）： 16名（女性）

平均在所期間 9.0年（最長 11年） 年間入所 0名 年間退所 1名

**【職 員】**

	2019年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2020年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
生活指導員	1		1							1		1
サービス 管理責任者	2		2							2		2
生活支援員	6	13	19			1	1	1	1	6	13	19
合計	9	13	22			1	1	1	1	9	13	22

**【施設運営状況】**

- ・労働基準監督署の指導のもと、宿直業務の業務内容、勤務時間等の改善を図った。
- ・重症心身障害者を対象とした寿ホームを含め、障害支援区分の高い方が多い中で、大きな事故もなく運営することが出来た。

**【利用者支援状況】**

河口湖C Vサテライトに入居している利用者が、山梨県総合農業技術試験センター岳麓試験地職員（山梨県非常勤職員）として一年間働くことが出来た。（令和2年度も継続雇用）  
前年度、河口湖C Vから山梨県障害者職業支援センターに一年間通っていた利用者が、一般就労は適わなかったが、5月に北杜市にあるグループホーム、就労継続支援B型事業所に移ることが出来た。

**【施設整備状況】**

なし

**【教育研修】** 富士北麓支援事業部（ケアービレッジ）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
10月17日	基幹相談支援センター出前講座	寿第1ホーム	16名

**V 事業所名** : さぼーとヨハネ  
**サービス区分名** : 相談支援事業

**【職 員】**

	2019年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2020年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
相談支援 専門員	4		4							4		4
合計	5		5							5		5

**【施設運営状況】**

- ・山梨県「富士・東部圏域マネージャー」に1名出向
- ・富士北麓障害者基幹相談支援センター「ふじのわ」に1名出向
- ・職員1名が、山梨県相談支援従事者初任者研修を受講し、相談支援専門員に就任した。
- ・富士聖ヨハネ学園入所利用者及び富士北麓地域に居住の方の計画相談契約者数が256件に達した。

**【利用者支援状況】**

- ・施設入所希望のケースについて、施設見学等行っているが入所が出来ない状況が続いており、その為短期入所でのいである状況が続いている。
- ・薬物・アルコール依存症者の計画相談を常時30件昨年度より継続して行っている。

**【施設整備状況】**

なし

**【教育研修】** 富士北麓支援事業部（相談支援）

日 時	研 修 名	会 場	出席者
8月2日～	相談支援現任研修	山梨県立青少年センター	2名
8月27日～	強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）	山梨県立青少年センター	1名
9月21日	高次脳機能障害の理解と対応	ホテル春日居	1名
10月17日～	医療的ケア児等コーディネーター養成研修	あけぼの福祉センター	1名

## 拠点区分名：障害福祉部門 小金井

VI 事業所名	: 小金井聖ヨハネ支援センター
サービス区分名	: 生活介護事業・就労移行支援事業・就労継続支援B型事業 就労定着支援事業

### 【2019年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (2019年度)	利用率 (2018年度)	利用率 (2017年度)
生活介護	25人	22人	18.6人	74.5%	74.1%	65.1%
就労移行	10人	5人	3.7人	38.0%	70.4%	96.2%
就労継続B型	25人	23人	19.3人	77.3%	86.3%	73.9%

平均年齢 生活介護 33歳 就労移行 30歳 就労継続B型 29歳 (最高63歳 最低19歳)  
 男女比率 生活介護 12名:7名 就労移行 4名:1名 就労継続B型 13名:10名  
 平均在所期間 生活介護 3.0年 就労移行 1.6年 就労継続B型 4.3年 (最長7年11か月)  
 年間入所 7名 年間退所 0名

### 【職員】

	2019年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2020年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
センター長	1		1					1		1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	7	16	23	0	1	9	6	9	7	6	19	25
事務員	1	1	2	1		1		1	1	2	2	4
栄養士・ 調理員	1	1	2							1	1	2
医師		1	1								1	1
看護師		1	1								1	1
合計	12	20	31	1	1	10	6	11	7	13	24	35

### 【施設運営状況】

小金井聖ヨハネ支援センターは平成27年5月に開所した定員52名の多機能型施設である。今年度より、生活介護と就労継続支援B型の定員を各々25名に増員して、就労移行支援の10名と合わせて60名定員の事業所とすることとした。開所から5年を経過して、特別支援学校の卒業生を主とした利用者受け入れも順調に推移しており、2019年度は卒業生2名と他事業所3名の計5名(生活介護1、就労移行2、就労継続支援B型2)を迎え入れた。就労移行支援は就職するこ

とで減員となり、新規利用者がいないため大幅な定員割れとなってきたため、積極的に実習生の受け入れを行った。1年生の職場・事業所体験、2・3年生の実習生を受け入れており、地域との連携を図り、新規受け入れ態勢も整えた。それに対応する職員体制の充実を図り、職員を確保しながら慢性的な人出不足も解消しつつある。

### 【利用者支援状況】

生活介護は、午前・午後と4時間体制で行い、午前には刺繍・ビーズリース等の室内作業や支援センター周辺のゴミ拾い・園芸作業・腐葉土作り等を行った。午後は体力保持や気分転換を含め、各利用者にあった距離や速さに合わせてグループで散歩を行い、日によって音楽活動・ドライブ・レクリエーションなど幅広い活動も行った。

今年度は日帰り旅行だけではなく、少人数でのグループ外出にも挑戦。普段とは違う様子でみなさん楽しんで過ごせていた様子である。

現在、利用者の年齢も幅広く、また、障害や行動特性の幅も広いため、職員は支援を通じより考え学び、利用者一人一人の満足度を高め、個人はもとより集団としての活動を維持するための工夫が必要になっている。

就労移行支援の2019年度就労実績は0名。作業の安定化に力を入れたため、就労には結びつかなかった。定着支援として、就職6か月後までは定期的な職場訪問、電話相談等も継続して行っている。就労移行支援としては、就労定着支援事業の期間終了後もボランティア的に継続して支援している方々が大勢いるのも特徴でもある。移行利用者へは、ビジネスマナーの取得、技術向上を目的として法人内の病院栄養科での実践的な作業実習を日々行うとともに、面接同行等の支援を行っている。

就労継続支援B型では、職員の異動による変化もあり、利用者の方と職員が協力して作業を行っており、さらなる工賃アップを目指して、日々努力しながら経験を積んでいる。就労については、面談にて本人の意志を確認し、希望される方には個別にプログラムを組んでいる。東小金井商店会や梶野公園実行委員会とも協力してイベント参加も行き、地域との繋がりを大事にしている。祝日には余暇活動を設定し、バーベキュー大会やカラオケ大会、調理実習等を行っている。就労を目指しつつ、日々の生きがいを提供する支援が出来ればと考えている。

[作業種類] →パン作業以外は就労移行支援と共同で作業、ワークセンターとの協同も増えたのが今年度の特徴となっている。内職、ネジ作業請負も開始。

○外作業：桜町病院での食器洗浄（栄養課・職員食堂）、桜町病院本部館のトイレ清掃、桜町高齢者在宅サービスセンターでの食器洗浄、小金井市内のアパート・駐車場の草刈り（他市も業務請負あり）、小金井市より受託（公園トイレ清掃、公園・砂場清掃）

○室内作業：パン製造作業、パン販売作業、スウェーデン刺しゅう、小金井市より受託（リサイクル袋作り、凧作り）、内職作業（スマホケース業者・箱折り・封入等）

○その他：配食

### 【施設整備状況】

なし

<b>Ⅶ 事業所名</b> : 小金井聖ヨハネワークセンター
<b>サービス区分名</b> : 就労継続支援B型事業

**【2019年度利用状況報告】**

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (2019年度)	利用率 (2018年度)	利用率 (2017年度)
就労継続B型	20人	21人	15.4人	77.1%	70.0%	73.9%

平均年齢 43歳 (最高77歳 最低26歳)

男女比率 14名(男子) : 7名(女子)

平均在所期間 3.7年(最長7.7年) 年間入所 2名 年間退所 2名

**【職員】**

	2019年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2020年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
所長	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員		4	4	1		1	1	1	1	1	3	4
調理員		2	2								2	2
合計	2	6	8	1		1	1	1	1	3	5	8

**【施設運営状況】**

- ・今年度管理者、サービス管理責任者の交代があり、新体制にてスタートした。職員の安定化、育成に努めた結果、安定したサービス提供ができた。新規受け入れは2名であり、20名定員も達成した。現員21名であり、定員の増も視野に入れている。来年度も継続して地域との連携を強化し、要望があれば考慮し、定員増も視野に入れ、今年度に行った他市からの受け入れも積極的に取り組み、新規利用者獲得に向けて力を入れていきたい。  
就職者のアフターケアにも時間をかけ就労継続につなげた。
- ・利用者の仕事の確保は、受注仕事の開拓など営業にも積極的に取り組み、取引先の確保や受注枠の拡大を行った。
- ・第三者評価を受審した結果に基づき、新3ヶ年計画を策定し正規職員の配置、山梨・東京間の人事異動などをおこない、管理職を含め職員層を厚くし、職員の成長と育成の改善とサービスの質の向上を進めている。また、利用者意思決定支援、虐待防止、権利擁護、緊急時支援、事業継続計画などマニュアルの改正整備に取り組み支援力の強化と利用者支援に活かしていく。
- ・来年度は第三者評価を受審し、更なるサービスの向上に努めたい。

**【利用者支援状況】**

- ・新規受け入れ人数(H31.4~R2.3) 2名  
H31.3月末19名 → H31年度 新規2名、年度末在籍者21名

小金井市・他市（小平市）より受け入れを行った。

- ・ハローワーク立川での求人検索、就労相談、失業給付手続き
- ・市内短時間アルバイト 読売センター小金井販売所
- ・内職業者より業務請負（株式会社新和）→今年度より1社業務請負増（株式会社エアージェイ）利用者への作業供給安定に努めた。
- ・有限会社石井ホームサービス（不動産業）よりアパート清掃、草刈り作業請負
- ・昨年度、小金井市内にある真明寺、貫井保育園と清掃契約を結び、継続中
- ・ワークセンターにて制作した刺繍バックや小物類等の販売会参加（小金井市障害者週間イベント、教会バザー、イトーヨーカドー販売会）にも力を入れ、利用者さんの地域参加、作業収入増に努めた。
- ・利用者就労支援 就労実績0名  
→相談、連絡調整、職場訪問、アフターケア支援は継続して行った。

### 【施設整備状況】

- ・作業環境の整備  
駐車場へ物置を設置。室内の内装工事（クロス張替え・床板張り）も行い、来年度へ向けて整備を行った。新たな取り組みを視野に入れ、利用者さんが活躍できる場を作るよう取り組んでいる。

<b>Ⅷ 事業所名</b>	<b>: 小金井聖ヨハネケアビレッジ（7ユニット）</b>
<b>サービス区分名</b>	<b>: 共同生活援助事業（介護サービス包括型）</b>

### 【2019年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (2019年度)	利用率 (2018年度)	利用率 (2017年度)
本町1	7人	7人	7人	100%	100%	100%
本町2	7人	7人	7人	100%	100%	100%
貫井北町1	3人	3人	3人	100%	100%	100%
貫井北町2	3人	3人	3人	100%	100%	100%
貫井北町3	2人	2人	2人	100%	100%	100%
中町	6人	3人	4.9人	82%	83%	83%
梶野町	7人	7人	7人	100%	100%	100%
短期入所	4人	—	3.2人	81.4%	61%	60%

平均年齢 54歳（最高 77歳、最低 25歳）

男女比率 17名（男性）： 15名（女性）

平均在所期間 11.2年（最長 16年） 年間入所 0名 年間退所 2名

## 【職 員】

	2019年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2020年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
世話人 生活支援員	7	32	39		1	3	4	3	5	6	31	37
合計	9	32	41		1	3	4	3	5	8	31	39

## 【施設運営状況】

小金井聖ヨハネケアービレッジ中町ユニット以外は定員を満たしており職員数も確保され、安定した支援体制を組む事が出来た。利用者の重度化・高齢化が目立ってきている中、長期に休む利用者はなく、各事業所の日中活動に通い休日には思い思いの余暇を過ごす事が出来ていた。中町ユニットの建物契約が今年度いっぱい切れる為、新居探しを行い無事に引っ越しが行われた。中町ユニットのご夫婦2名がそれに伴い退居となる。

利用者会議は例年通り定期的に行われ、行事など利用者による企画が実現された。

## 【利用者支援状況】

全体的には大きな病気や怪我もなく1年過ごす事ができたように思うが、利用者の平均年齢が上がり重度化・高齢化が進み体力的にも機能的にも低下がみられる利用者が増えてきている。病気ではないが時々日中活動を休みホームで過ごす利用者も見られるようになり平日の日中支援が必要になる場合があった。各会議でも利用者支援について話し合いを行い、特に食事については歯が少ない人・入歯の人に対して食事形態、嚥下が困難になっている利用者への食事介助の工夫・配慮を行ってきているところである。

年が明けてから新型コロナウイルスの影響によりヘルパーの利用や外出の自粛などにより利用者の希望に添える余暇活動ができなくなってしまった。自分で行動できる利用者に対する支援で難しいのが、外出の自粛を理解してもらえない事である。

中町ユニットで2名有料老人ホームへ入居するため、退去となった。

今後も職員一人一人が利用者支援について考え、寄り添い安心・安全な環境を整えられるように努めてゆきたい。

## 【施設整備状況】

- ・スプリンクラー設置工事（本町）
- ・各居室の換気扇取替工事（本町）
- ・1階トイレの修理（本町）
- ・1階キッチン蛇口・2階洗面台の蛇口交換工事（本町）
- ・冷蔵庫の購入（本町）

- ・風呂場蛇口交換（梶野町）
- ・オーナーによるシステムキッチンの総取替工事（貫井）
- ・ガス台の新規交換（貫井）
- ・オーナーにより、各居室、食堂のエアコン清掃業者依頼（中町）
- ・オーナーにより、ガス給湯器の取替えを行う（中町）

**IX 事業所名** : 小金井聖ヨハネ短期入所  
**サービス区分名** : 短期入所事業

今年度も短期入所希望者の見学・契約者数はコンスタントに増加。直ぐに利用したいというケースもあるが、緊急時の対応として泊まれる場所を確保しておきたいという利用者が多い。現状としては、将来グループホームを希望している、親元でない生活をさせたいという体験利用や、レスパイト的な利用が主であった。定期的な利用者が多く、居心地の良さなどが評価されている。緊急対応としては清瀬のケースを引き継ぎ小金井の短期入所で受け入れを行い協力体制を取った。男性の緊急対応は可能でも、女性の場合は女性スタッフの確保の点から緊急対応が難しいのが現状である。今後も地域の利用者のみなさんのニーズに応えられるように環境を整えてゆきたい。

**X 事業所名** : ふらっとヨハネ  
**サービス区分名** : 相談支援事業

#### 【施設運営状況】

「聖ヨハネ会障害福祉部門東京事業所」の小金井地区と清瀬地区の各事業所を利用されている方を中心に「サービス利用計画」の作成とモニタリングを実施した。

今年度は専任相談員1名での聞き取り、作成をした。相談業務全般を専従として行えたので面談日程や報告書作成の段取りがスムーズで効率よく業務がこなせた。

#### 【利用者支援状況】

小金井地区では新規利用者が増え、定期的な利用が増え、安心した利用が続いている。清瀬地区でも新規利用者が増え、若い利用者の将来を見据えた計画作成をしている。しかし、相談支援の現場での支援（利用者本人の悩みや将来の方向性について、共に話し合い、共に行動をとり、共に進めていく）の時間を作ってはいたが十分とはいえなかった。

#### 【施設整備状況】

相談支援を行うための、利用者の管理・日々の業務・請求処理等をサポートするために開発されたシステム「ほのぼの」シリーズ「ほのぼのmore」を2月に導入して業務を行っている。



## 教育研修 小金井支援事業部

日時	研修名	会場	出席者
4月2日	聖ヨハネ障害福祉部門 新任職員研修	富士聖ヨハネ学園青少年センター	1名
5月17日	東社協『福祉施設の事業継続計画作成研修2』	飯田橋升本ビル左官工業協同組合貸会議室	2名
6月6日	多摩就労支援連絡会『依存症・摂食障害の理解』	立川地方合同庁舎 HW立川3階会議室	2名
6月8日	東社協『ご家族とより良い関係を築けるつき合い方』	飯田橋セントラルプラザ12階ABC会議室	1名
6月19日	都通研『事例から学び、実践に役立つ支援の考え方』	国立オリンピック記念青少年総合センター	2名
6月28日	東社協 強度行動障害支援アドバンス研修(基礎・医療)	飯田橋升本ビル左官工業協同組合貸会議室	1名
7月12日	法人合同研修『お金にまつわるセミナー』	聖ヨハネ会本館 戸塚ホール	1名
7月22日	社会福祉法人・施設 会計基礎実務研修会基礎コース	中央大学駿河台記念館	1名
7月23日～24日	社会福祉法人・施設 会計基礎実務研修会基礎コース	中央大学駿河台記念館	1名
7月23日	東社協 強度行動障害支援アドバンス研修(プレ研修)	リロの会議室A	2名
7月23日	東京都サービス管理責任者更新研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	2名
7月30日	東京都サービス管理責任者更新研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	1名
7月31日	東京都サービス管理責任者更新研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	2名
8月6日	東京都サービス管理責任者更新研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	1名
8月8日	東京都サービス管理責任者更新研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	2名
8月14日	東京都サービス管理責任者更新研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	1名
8月22日	東社協 強度行動障害支援アドバンス研修(第1回)	飯田橋升本ビル左官工業協同組合貸会議室	1名
8月29日～30日	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	ホテル日航立川 3階アトランティック	1名
8月29日～30日	第31回全国グループホーム等研修会 in 千葉	東京ベイ幕張ホール1階	1名
9月10日	障害者グループホーム従事者基礎研修	三多摩労働会館大会議室	2名
9月11日	法人合同研修『介護現場でのハラスメント』	聖ヨハネ会本館 戸塚ホール	2名
9月11日	虐待防止・権利擁護についての研修会	小金井聖ヨハネケア・ビレッジ	22名
9月19日	東社協 強度行動障害支援アドバンス研修(第2回)	飯田橋セントラルプラザ12階	1名
9月19日	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)第2回補講	飯田橋レインボービル2階中会議室	1名
10月3日	福祉職員のストレスケアについて学ぶ	聖ヨハネ館本館 戸塚ホール	2名
10月19日	知的発達障害部会利用者支援研究会	飯田橋セントラルプラザ12階	1名
11月11日・14日	令和元年度第1回東京都サービス管理責任者基礎研修	杉並公会堂	1名
11月13日・14日	聖ヨハネ会 障害福祉部門 職員研修	聖霊修道院マリア館	7名
11月19日	令和元年度第1回東京都サービス管理責任者基礎研修	ティアラこうとう	1名
11月20日	令和元年度東京都就労支援・定着支援スキル等向上研修	東京都社会福祉保健医療研修センター5F	1名
11月21日	強度行動障害支援アドバンス研修	左官工業協同組合会議室	2名
11月27日	令和元年度東京都就労支援・定着支援スキル等向上研修	東京都社会福祉保健医療研修センター5F	1名

12月5日	東京都サービス管理責任者更新研修	府中の森m芸術劇場 平成の間	1名
12月14日	就労支援フォーラムNIPPON	ベルサール新宿グランド	2名
12月17日	厨房業務のため	(株)マジッククッキングラボトリー	1名
12月19日	強度行動障害支援アドバンス研修	飯田橋セントラルプラザ12階	2名
1月14日・15日	令和元年度第2回東京都サービス管理責任者基礎研修	練馬文化センター	1名
1月18日	令和元年度第2回東京都サービス管理責任者基礎研修	国立オリンピック記念青少年総合	1名
1月21日	東京都多摩府中保健所主催食品衛生実務講習会	調布市文化会館たづくり (くすのきホール)	1名
1月31日	知的障害者部会令和元年度地域学習会	滝乃川学園 石井亮一・筆子記念館	1名
2月1日	令和元年度5法人共催職員合同研修会	東京都社会福祉保健医療研修センター	1名
2月3日～4日	令和元年度第2回東京都サービス管理責任者基礎研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	1名

## 拠点区分名：障害福祉部門 清瀬

XI 事業所名 : 清瀬聖ヨハネ支援センター  
サービス区分名 : 生活介護事業

### 【2019年度利用状況報告】

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (2019年度)	利用率 (2018年度)	利用率 (2017年度)
生活介護	20人	22人	20.0人	96.0%	94.7%	86.8%

平均年齢 46歳（最高66歳 最低20歳）

男女比率 13名（男子）：9名（女子）

平均在所期間 5.6年（最長6.5年） 年間入所 2名 年間退所 1名

### 【職員】

	2019年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2020年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
施設長	1		1		1				1			
サービス 管理責任者	1		1							1		1
生活支援員	2	6	8		1	4	4	4	5	1	6	7
調理員		1	1								1	1
医師		1	1								1	1
看護師		1	1								1	1
合計	4	9	13		2	4	4	4	6	2	9	11

### 【施設運営状況】

令和元年度は、昨年度末から体験実習として通所されていた方が、5月に正式入所。8月に1名入所された。結果、年度末現員22名となり定員を2名超える利用となった。次年度は、入所を強く希望されている清瀬特別支援学校の生徒が入所に向けて1年生の時から実習を行っているため、23名となる予定である。定員20名と利用率を勘案すると新規入所は受けられない状況になった。

### 【利用者支援状況】

開設6年が過ぎ、活動の形が定着してくるとともに利用者の方々も事業所内での自分の立ち位置が定まってきた。また、外部との交流が増えて外に出る機会も多くなり利用者の希望に応える活動ができている。活動内容は主に二つである。牛乳パックを和紙に再生して作る「ハガキやカード類」は工程作業を利用者の特性に合わせながら進めている。もうひとつは創作活動で、利用者一人一人が持っている感情・感覚・感性をありのままに表現したものを絵画として創り出し、

展示会などに出展している。表彰がすべてではないが入賞する人も増えている。次年度はさらにいろいろとアイデアを出し合いながら進めていきたい。その他、小グループ外出、季節の行事、調理実習、健康管理等々の活動を行っている。

**【施設整備状況】**

- ・ 10人乗り送迎用福祉車両の購入
- ・ タブレットパソコンの購入
- ・ 作業台の購入

<b>XII 事業所名</b>	<b>: 清瀬聖ヨハネケアビレッジ (4ユニット)</b>
<b>サービス区分名</b>	<b>: 共同生活援助事業 (介護サービス包括型)</b>

**【2019年度利用状況報告】**

種別	定員	現員 (3月末)	1日平均 利用者数	利用率 (2019年度)	利用率 (2018年度)	利用率 (2017年度)
下清戸1	7人	7人	7人	100%	100%	100%
下清戸2	7人	7人	7人	100%	100%	100%
中清戸1	7人	7人	7人	100%	100%	86%
中清戸2	7人	7人	7人	100%	100%	100%
短期入所	2人	—	0.2人	13.9%	41%	11%

平均年齢 47歳 (最高 66歳、最低 22歳)

男女比率 14 (男性) : 14名 (女性)

平均在所期間 7.6年 (最長 13年) 年間入所 1名 年間退所 1名

**【職 員】**

	2019年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2020年3月31日 の職員数		
	正規職員	非正規職員	合計	正規職員		非正規職員		合計		正規職員	非正規職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
管理者	1		1							1		1
サービス 管理責任者	1		1							1		1
世話人 生活支援員	6	21	27	1		2	1	3	1	7	22	29
合計	8	21	29	1		2	1	3	1	9	22	31

**【施設運営状況】**

中清戸ケアビレッジの利用者が1名退居された事により、間もなく新入居者を迎え、定員は

満たされた。利用者の転倒～骨折などがあり、介助技術向上の為、同法人の高齢部門より講師を依頼。介護研修を行う事により介護の知識と技術の向上に努めた。

#### 【利用者支援状況】

ケアビレッジでは、利用者それぞれの思いを大切に一人ひとりの暮らしに即した支援を行うように心がけた。利用者の方々は、日々、日中活動事業所に通い、夕方ケアビレッジに帰ってきて、職員との会話を楽しんだり自室やDルームで思い思いに過ごしている。休日は、帰宅される方、ガイドヘルパーを利用して趣味や外出を楽しむ方、またはボランティアの人たちと音楽や会話を楽しむ方などいろいろである。何気ないひと時が安らぎとなるそんな空間や雰囲気大切にしている。

健康管理については、日々の生活の中で利用者のちょっとした変化に気を配り支援者同士の話し合いと連絡を重ねて早期対応をしてきたが、突発的な利用者の怪我等があった。原因等を考察し、支援者同士で共有するとともに、安心・安全な生活が送れるように支援をしてゆきたい。

#### 【施設整備状況】

- ・防犯カメラの設置(中清戸)
- ・リビング・食堂～廊下の照明 LED 取り換え工事(下清戸)

XIII 事業所名	: 清瀬聖ヨハネ短期入所
サービス区分名	: 短期入所事業

男性の定期的利用者はいるが、短期入所稼働率は低い。女性利用者に関しては利用希望者は少なく、清瀬市より要請があった緊急対応者の受け入れのみとなった。地域の利用者の受け入れを今後、積極的に行ってゆきたい。

教育研修（清瀬支援事業）

日時	研修名	会場	出席者
4月2日	聖ヨハネ障害福祉部門 新任職員研修	富士聖ヨハネ学園青少年センター	1名
4月25日	R式傾聴スキル研修 第1回	シャロームみなみ風地域交流スペース	2名
5月23日	R式傾聴スキル研修 第2回	シャロームみなみ風地域交流スペース	1名
6月21・22日	東社協 新任職員研修	いこいの村 あしがら	1名
6月27日	R式傾聴スキル研修 第3回	シャロームみなみ風地域交流スペース	2名
7月13日	東社協『多飲水・水中毒の支援』	飯田橋セントラルプラザ12階	3名
7月25日	R式傾聴スキル研修 第4回	シャロームみなみ風地域交流スペース	2名
7月30日	東京都サービス管理責任者更新研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	1名
7月31日	東京都サービス管理責任者更新研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	1名
8月6日	東京都サービス管理責任者更新研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	1名
8月7日	東社協『sessionセミナー3#アート活動』	飯田橋升本ビル左官工業協同組合貸会議室	1名
8月8日	東京都サービス管理責任者更新研修	東京都社会福祉保健医療研修センター	1名
8月22日	R式傾聴スキル研修 第5回	シャロームみなみ風地域交流スペース	2名
9月10日	障害者グループホーム従事者基礎研修	三多摩労働会館大会議室	1名
9月14日	東社協『発達障害とてんかん』	飯田橋セントラルプラザ12階	1名
9月26日	R式傾聴スキル研修 第6回	シャロームみなみ風地域交流スペース	2名
9月28日	東社協『私たちの知らない自閉症の世界Ⅲ』	飯田橋セントラルプラザ12階	1名
10月3日	福祉職員のストレスケアについて学ぶ	聖ヨハネ館本館 戸塚ホール	2名
10月17日	アドラー心理学対人援助スキルアップ研修	シャロームみなみ風 地域交流スペース	2名
10月18日	東社協新任職員研修	研究社英語センター地下2階大会議室	1名
11月13・14日	聖ヨハネ会 障害福祉部門 職員研修	聖霊修道院マリア館	7名
11月21日	アドラー心理学対人援助スキルアップ研修	シャロームみなみ風 地域交流スペース	2名
12月9日	高齢化への対応について	三多摩労働会館大会議室	1名
12月12日	アンガーマネジメント研修	男女共同参画センター会議室	1名
12月12日	アドラー心理学対人援助スキルアップ研修	シャロームみなみ風 地域交流スペース	1名
12月24日	意思決定支援ってなんだろう～権利擁護の視点から	ひだまりの里きよせ	1名
1月9日	アドラー心理学対人援助スキルアップ研修	シャロームみなみ風地域交流スペース	1名
1月13日	社会福祉法人同愛会練馬地区実践報告会	練馬産業会館	1名

## 2. 高齢福祉部門

### I 桜町聖ヨハネホーム

(指定介護老人福祉施設・短期入所生活介護)

#### 【2019年度利用状況報告】

種別	定員	1日平均利用者数	利用率 (2019年度)	利用率 (2018年度)	利用率 (2017年度)
介護老人福祉施設	106名	99.7名	94.1%	91.7%	93.8%
短期入所生活介護	8名	7.1名	88.6%	67.0%	68.2%

平均年齢 89.6歳 (最高104歳、最低60歳)

男女比率 17:83 (2020年3月31日現在:102名)

平均在所期間 4年1ヶ月 (最長19年11ヶ月)

年間入所 17名 (2018年度入所:24名・2017年度入所:20名・2016年度入所:19名)

年間退所 15名 (2018年度退所:26名・2017年度退所:22名・2016年度退所:18名)

#### 【職員】

	2019年3月31日 の職員数			年間退任・就任						2020年3月31日 の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
施設長	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1
医師	0	6	6	0	0	0	2	0	2	0	4	4
生活相談員	2	0	2	1	0	0	0	1	0	3	0	3
介護支援専門員	(3)	0	(3)	0	0	0	0	0	0	(3)	0	(3)
介護職員	28 (3)	17	45 (3)	9	3	1	1	10	4	34 (3)	17	51 (3)
看護職員	5	2	7	0	1	1	1	1	2	4	1	5
機能訓練指導員等	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1	2	3
管理栄養士	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2
調理員	5	8	13	0	0	1	2	1	2	5	7	12
事務職員	4	0	4	1	0	0	0	1	0	5	0	5
生活サポート	0	15	15	0	0	2	7	2	7	0	10	10
用務員	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	47 (3)	56	103 (3)	11	5	6	13	17	18	53 (3)	44	97 (3)

※上記表には管理宿直員含まず

※派遣職員 2020年3月31日現在 0名

## 【施設運営状況】

### 1. 財務状況について

(単位：千円)

	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
当期資金収支差額	82,462	▲1,223	▲20,421	10,965	5,616
当期事業収支差額	▲31,022	▲54,565	▲50,371	▲2,636	▲18,654
人件費率	80.4%	83.7%	81.3%	73.6%	75.9%
修繕費	2,161	5,583	3,751	2,998	2,357
減価償却費	25,380	25,190	25,189	24,804	25,682

2017年度から2期連続で資金収支、事業活動収支ともに赤字決算だった。そのため、2019年度資金収支については黒字化を目指して運営した。しかし、年度当初より月々の運転資金の不足が見込まれたため、積立金から7,903万円取り崩した。また、部門内事業所への長期貸付金のうち1,700万円のまとまった返済があり、その結果8,246万円の黒字となった。

事業活動収支については財務状況悪化の危機状態から脱却するための方策として、介護保険事業収入を増やすしかないため、利用率の向上を目指し取組を強化した。結果、2018年度より2,690万円の増収となった。

一方、支出については人件費、事業費、事務費の内容を分析した。結果、人件費は前年度より717万円の増となったが、人件費率は80.4%と2017年度、2018年度より低下した。しかし、80%は超えており、前期同様、危険域を脱していない。介護職員・看護職員を確保しつつ人件費率を改善することは容易でないが、70%台を目指し、分析を進め引き続き適正化に向け取り組まなければならない。

事業費支出については2018年度の7,182万円に対し、2019年度は7,258万円と、76万円の増ではあるがほぼ横ばいであった。

事務費支出については、修繕関係も含めた契約内容の見直し、照明器具のLED化、コスト削減につながる職員の取組などにより470万円の減となった。

今期の減価償却費は2,538万円を計上した。過去の推移は、2018年度2,544万円、2017年度2,519万円、2016年度2,480万円、2015年度2,568万円であり、これを完全にカバーできる財務状況にはまだ至っていない。

### 2. 入退所の動き

ご利用者様の入院期間中、及び退所から入所までの期間の空きベッドをつくらないことを目標に取り組んだが、2020年1月ごろより各施設や病院も新型コロナウイルス感染症対策が始まり、第4四半期は入所の迅速化は難しい面があった。

2019年度の新入所者は17名。退所者は15名であった。

新入所者の動向は、桜町病院から3名、他施設・他病院から9名、在宅生活から5名であった。

退所者の動向は、施設内でご逝去が8名、桜町病院入院中でのご逝去が3名、また桜町病院に長期入院となり医療が常時必要などの理由での退所者が4名であった。

法人内連携で桜町病院との入退所状況を見ると、桜町病院から新入所が3名、桜町病院入院後退所（ご逝去・長期入院）が7名となり双方向での協力連携が実施された。



利用率の安定は施設全体で積極的に展開したが、2017年度から続く入院者の激増は、収入の大幅減の大きな要因となっている。ご利用者様の持病などの疾患や重介護度の入所が増加し入院傾向は継続している。

2019年度の平均利用人員は99.7名と、2018年度(97.2名)より増加した。しかし、業界全体の新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、依然1日平均6名の空床となった。空きベッドを埋める対応策としてショートステイの利用率の上昇を目標に掲げ、ショートステイのロング利用などを積極的に展開した。

## 【利用者支援状況】

【施設目標】 人生の完成に向かって歩まれている利用者様に  
『大切にされていると思われるケア』を实践する。【サービス】

### (1) 職員一人一人が自分の役割を理解し、責任と誇りを持ちます。【人財育成】

#### ● 感染症対策について

桜町病院の感染管理看護師を講師に迎え、「手指衛生」「个人防护具」「医療的処置・耐性菌」について学び、標準予防策の徹底を呼びかけた。

生活支援課職員は常時アルコールジェルを携帯し1ケア1消毒を行っており、その効果もあり2019年度は感染性胃腸炎・インフルエンザともに発生しなかった。

また、年3回「健康だより」を施設内に掲示。テーマはシーズンに合わせて感染症対策委員会にて選定し、感染症予防の励行に努めている。

#### ● サービスについて

- ・褥瘡委員会の研修にて小山珠美先生をお迎えし、KT バランスチャート勉強会を開催。「口から食べる」事の大切さを参加職員は改めて考える機会となった。また歯科医師をはじめとする専門職による多職種連携の中で経口維持への取り組みを深めており、2020年度に摂食嚥下委員会が発足する運びとなった。
- ・利用者懇談会を月1回開催。ホームからのお知らせをお伝えするとともに、ご利用者様からの要望や困り事を伺う機会を持っている。
- ・ターミナル委員会では、看取り介護となったご利用者様について、ご家族との情報共有のために新たなツールを活用し、より良い看介護の実践を進めている。

### (2) 各係が連携し、組織性を高めます。【組織】

特にご利用者様の生活を支える生活支援課の3係(介護係・医務係・生活相談係)は何か問題が起こりそうになった時には些細なことであっても集まるなど、報告・連絡・相談を基本に、コミュニケーションを徹底して物事を決定していくことを進めた。日常の情報の共有化を図り連携を強めた。

### (3) 安定した財務状況を進めます。【財務】

厳しい財務状況が続いてはいるが、利用率の更なる向上に取り組む必要がある。そのため、本入所の迅速化、及び入院中のベッドを空床にしないためのショートステイ利用者の確保の強化に取り組む。

そして、職員全体で取り組める支出削減策を打ち出し、支出額の圧縮を図っていくとともに、職員数の適正数を確保し、安定した組織運営を目指す必要がある。

#### (4) 開かれた施設であり続けます。【サービス】

大学院の実習受け入れや近隣保育園との交流。私立中学校・高等学校のボランティア活動の受入。その他、生活援助やサークル活動、喫茶やお茶席等団体活動32団体、延べ人数約900名。個人活動延べ約2,000名。年間活動合計延べ人数約2,900名の方々が施設に来ていただいている。

また、ホームページで各種行事の様子や研修会・勉強会の様子を都度アップし、視覚的にも大勢の人にホームの様子が分かる様に努めた。

#### 【特記事項】

##### 〔Ⅰ〕 経営管理体制の変更について

6月5日の法人理事会において、高齢福祉部門統括施設長及びホーム園長の人事異動が決定され、小野ベリ子統括施設長・ホーム園長が就任した。(藤井律治前園長と芦澤みゆき前副園長は6月5日付で任を解かれた。)

6月5日以降、新園長の指導のもと、財務改善を最優先に各種の改善・見直しを開始した。

##### 〔Ⅱ〕 緊急ショートステイの受け入れについて

利用者数は男性6名。女性9名の計15名。延べ利用日数は199日であった。なお、前年度の実績6名、延べ利用日数69日の実績状況であった。利用内容は主な介護者の急病・入院・冠婚葬祭・介護者からの不適切な介護・虐待等があげられる。在宅での老老介護の実態が汲み取れる。また、異常気象による夏場の熱中症や孤独死においても、被害防止の為に、緊急ショートステイの利用は有効性が見られる。今後も増え続けるであろう通常サービスでは対応できない受入サービスとしての緊急ショートステイは必要性が高いものと考えられる。

##### 〔Ⅲ〕 入所ご利用者のADL状況について <2020年3月31日現在・単位(人)・73名調査>

種類 \ 区分	介助されていない	見守り	一部介助	全介助
食 事 (構成比:%)	6 (8.2)	41 (56.2)	13 (17.8)	13 (17.8)
衣服着脱・上着 (構成比:%)	9 (12.3)	4 (5.5)	42 (57.5)	18 (24.7)
衣服着脱・ズボン (構成比:%)	7 (9.6)	2 (2.7)	6 (8.2)	58 (79.5)
排 泄・排 尿 (構成比:%)	4 (5.5)	5 (6.8)	30 (41.1)	34 (46.6)
排 泄・排 便 (構成比:%)	5 (6.8)	4 (5.5)	32 (43.8)	32 (43.8)
洗 身 (構成比:%)	0 (0.0)	0 (0.0)	17 (23.3)	56 (76.7)
起 床 (構成比:%)	1 (1.4)	0 (0.0)	40 (54.8)	32 (43.8)
寝 返 り (構成比:%)	3 (4.1)	0 (0.0)	44 (60.3)	26 (35.6)
立ち上がり (構成比:%)	1 (1.4)	0 (0.0)	35 (47.9)	37 (50.7)
歩 行 (構成比:%)	8 (11.0)	0 (0.0)	12 (16.4)	53 (72.6)

【IV】入所ご利用者の要介護度の状況について（前年度末：比）

	《2020. 3. 31 現在》	《2019. 3. 31 現在》	前年同日比増減
	男 性	男 性	
要介護 1	1 名	0 名	+1 名
要介護 2	0 名	1 名	-1 名
要介護 3	3 名	2 名	+1 名
要介護 4	1 名	4 名	-3 名
要介護 5	12 名	9 名	+3 名
合 計	17 名	16 名	+1 名

  

	《2020. 3. 31 現在》	《2019. 3. 31 現在》	前年同日比増減
	女 性	女 性	
要介護 1	3 名	2 名	+1 名
要介護 2	6 名	4 名	+2 名
要介護 3	10 名	10 名	0 名
要介護 4	35 名	37 名	-2 名
要介護 5	31 名	27 名	+4 名
合 計	85 名	80 名	+5 名

【栄養部の取り組み 栄養管理係・総合給食係】

総合給食係では、日々安心・安全に気をつけつつ食事を提供し行事食・郷土料理・おやつ作りなどを企画・施行した。又、相談・連絡・報告などによるコミュニケーションやミーティング、施設をまたいで勤務等を重ね、ホーム・センター共に不測の事態がおこってもすぐに対応できる体制を整えた。栄養管理係では新たに、多職種による継続的な経口摂取支援に向けてのしくみを検討し、様式を作成して加算取得につなげた。

ホームでは多面的な食支援を実現するため、著名な外部講師を招いて KT バランスチャートの勉強会を行ない、実践した。それにより、自力摂取可能者の増加や、誤嚥性肺炎の予防、低栄養高リスク者の減少など、ご利用者様の ADL の維持・向上につながった。さらに、桜町病院の大井医師による在宅食支援勉強会を毎月開催し、在宅・ホームの困難事例の対応を食形態やとろみだけでなく、食支援に必要な多方面からのアプローチの仕方を学びつつ、実践した。在宅では地域のご利用者様の低栄養改善のため、かかりつけクリニックと連携しつつ、摂食嚥下困難者の配食を行ない、在宅生活の維持を支援した。今後も継続して地域の低栄養予防に取り組んでいく。

また栄養部では、下記の外部会議や協議会、研修会に参加し地域及び行政のニーズに応えた。

- ・北多摩南部圏域栄養・食生活ネットワーク会議
- ・多摩府中給食施設協議会（総会・優良従業員表彰・リハクッキング勉強会・栄養展・非常時防災メニュー展示会・フレイル予防講座・東京都立多摩総合医療センター見学会開催）
- ・小金井市地域包括ケアシステム研究会：介護予防部会
- ・小金井市自立支援・重度化防止等に資する地域ケア会議
- ・小金井市サブスタッフ養成講座
- ・東京都社会福祉協議会北南ブロック栄養士情報交換会

## 【施設整備状況】

- ・建設後33年を超え、ライフライン関連で高額な設備機械の更新や修繕費対応が近年続いているが、ホームのこれまでの財務状況の悪化により、支出削減を徹底した。そのため緊急を要し、また安全に関係する箇所以外の工事や修繕は見送った。  
また、修繕については複数業者より見積書を取得し、価格についても出来る限りの値引き交渉や修繕内容の調整を実施した。
- ・介護用ベットは、老朽化し不具合が心配なベットを中心に年間複数台を更新しているが、今期も本部から協力を得て助成を受けて整備した。  
自前で購入したものも含めて、全部で8台で約174万円を支出した。
- ・修繕費については、ボイラー温水・冷房チラー・配水管等の日常点検を強化し、漏水など故障箇所の早期発見を努めている。また、職員にも不具合箇所の早期報告に協力してもらっている。今期の修繕費総額は約216万円で、過去年度より修繕費支出は大きく減少している。  
(2018年度558万円・2017年度375万円・2016年度300万円・2015年度236万円・2014年度593万円・2013年度423万円)
- ・老朽化によるボイラー関係修理や温冷水配管の漏水と結露など漏水補修工事を実施した。
- ・予算時に計画的に優先順位をつけて予算化しているが、予期せぬ修理・更新も多くなってきており、対応に追われる状況にある。

### 1. 主な固定資産取得（器具及び備品・車輛運搬具）

●	6/30	アルカリイオン整水器	140,000円
●	9/30	介護用電動ベット5台	1,026,000円
●	1/31	ブリクサー	187,000円
●	1/31	介護用電動ベッド1台	282,000円
●	1/31	介護用電動ベッド1台	221,100円
●	2/29	車椅子	228,000円
●	2/29	介護用電動ベッド1台	210,650円

### 2. 主な修繕費支出

●	5/31	漏電指摘箇所ブレーカー交換等	78,840円
●	8/31	臥床式機械浴修理	283,603円
●	9/30	ボイラー部品交換	117,720円
●	9/30	車椅子修理	104,900円
●	10/31	臥床式機械浴洗身台修理	152,713円
●	12/31	温水ヒーター循環ポンプ修理	242,000円
●	1/31	ミキサー・ブレンダー修理	100,738円
●	1/31	エレベータ・ピット等緊急点検	92,400円
●	1/31	ふじ5号室壁面等修繕	165,000円
●	3/31	事務室エアコン入替工事	77,000円

### 3. リース資産 計上分（今年度は該当なし）

#### 4. 労災状況等

- 2019年5月 介護職員：移乗介助時に利用者が暴れ、爪を立てて受傷。  
その後化膿。
- 2019年6月 介護職員：介助中に利用者の身体を左側臥位にする際に中腰で行い受傷。
- 2019年11月 介護職員：車椅子からベットへの移乗介助中に腰を痛める。
- 2020年1月 介護職員：夕食介助中、介助椅子を運ぶ時に腰を痛める。  
歩行時に激しい痛みを生じる。

## 2019年度研修等参加一覧表

NO	研修名	主催	場所	研修日程	参加者
1	新任研修	法人本部・各施設	戸塚ホール、ホーム3F他	4/1,2,3	安田、有田、央戸、粕谷、立岡、
2	生産性向上 & HACCP制度化 ソリューションセミナー	ニチワ	ニチワ電機(株)東京支店	5/17	長津・朴・岩崎
3	認知症のある方の評価と機能訓練の展開～声かけから機能訓練まで～	東京都社会福祉協議会	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター3Aホール	5/24	芦澤
4	東京都多摩府中保健所 食品衛生、栄養管理報告書記入方法の記入方法他	東京都多摩府中保健所	バルトホール	5/27	西河、岩崎
5	アンガーマネジメントを活用したコミュニケーション入門研修	三幸福社カレッジ	グラフィオ西新宿6F	6/10	柴田
6	食事と生活場面(調理室外)での感染初対策	東京都多摩府中保健所	多摩府中保健所	7/3	朴、岩崎
7	朝・夕厨房無人化運営セミナー	ナリコマエんたープライズ	ホシザキ高輪ビル1F	7/18	永野
8	特養分科会	東京都社会福祉協議会	研究社英語センター地下2階	7/19	小野
9	介護職員等特定処遇改善加算について	東京都社会福祉協議会	飯田橋セントラルプラザ12階	7/23	谷村
10	専門職それぞれの視点から考える看取りケア～チームでより良いケアを目指すために	東京都社会福祉協議会	研究社英語センター地下2階	7/26	町山
11	災害看護	東京都ナースプラザ	東京都ナースプラザ 研修室401	7/31	小林
12	高齢者のスキンケアと褥瘡ケア 介護施設・療養の場で	東京都ナースプラザ	東京都ナースプラザ 研修室401	8/2	白木
13	ストレスチェック結果の見方説明会	中央労働災害防止協会	リオテック芝ビル4F	8/2	及川
14	エンゼルケアセミナー	公益者	公益社 吉祥寺会館	8/7	藤川
15	看護管理の基本	東京都ナースプラザ	東京都ナースプラザ 研修室302	8/8	白木
16	専門職それぞれの視点から考える看取りケア～チームでより良いケアを目指すために	東京都社会福祉協議会	研究社英語センター地下2階	8/22	木野
17	学会分類解説セミナー	ニュートリ―(株)	ThreeEightNineMITAKA	8/23	朴、岩崎
18	東京都認知症介護基礎研修	東京都社会福祉協議会	茗荷谷会場	8/30	関谷・大松
19	特定給食施設栄養管理講習会	多摩府中保健所	バルトホール	9/2	坂本・江黒
20	介護現場でのハラスメント	法人本部・各施設	戸塚ホール	9/11	荒井・谷村
21	特定給食施設栄養管理講習会	多摩府中保健所	バルトホール	9/25	岩崎・西河
22	中堅職員研修	東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉保健医療研修センター	10/1・2	本郷
23	中堅職員研修	東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉保健医療研修センター	10/9・10	田島
24	高齢者のせん妄～治療から予防へ～	桜町病院・認知症疾患医療センター	戸塚ホール	10/15	小林、白木、藤川、大柴
25	感染管理	東京都ナースプラザ	ナースバンク立川	10/16	浅見
26	北南ブロック 栄養士会	東京都社会福祉協議会	むさし村山苑	10/17	永野・長津
27	専門職それぞれの視点から考える看取りケア～チームでより良いケアを目指すために	東京都社会福祉協議会	研究社英語センター地下2階	10/30	藤川
28	ショートステイ情報交換会	東京都高齢者福祉施設協議会	飯田橋レインボービル7階大会議室	11/14	橋本
29	緊急時の食事提供について	東京都社会福祉協議会	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター3Aホール	11/15	永野
30	高齢者虐待防止研修	公益財団法人東京都福祉保健財団	なかのZERO大ホール	11/19	及川
31	高齢者の生活施設における転倒骨折事故防止研修	東京都ナースプラザ	東京都ナースプラザ 研修室401	11/21	大柴
32	小金井市小地域ケア会議	小金井にし地域包括支援センター	小金井市社会福祉協議会	11/27	永野
33	暮らしの場における看取り支援事業	東京都福祉保健局	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター3Aホール	12/25・1/24	橋本
34	食品衛生実務講習会	東京都多摩府中保健所主催	くすのきホール	1/21	西河、岩崎
35	メディケアフーズ展セミナー	UBMジャパン(株)	東京ビッグサイト青海展示棟	1/28	朴・坂本・江黒

## II 桜町高齢者在宅サービスセンター

通所介護・訪問介護・訪問入浴介護・居宅介護支援・小金井市委託事業

栄養事業（給食・さくら配食）

小金井きた地域包括支援センター（小金井市委託事業・介護予防支援）

### 【2019年度利用状況報告】

種別	種別	定員	年間延定員	延べ利用者数	1日平均利用者	利用率(2019年)	利用率(2018年)	利用率(2017年)
介護保険事業	通所介護(一般・予防・総合事業)	30名	9,570	8,781	28.8	91.8%	96.9%	101.4%
	通所介護(認知)	24名	7,320	5,479	18.0	74.9%	69.1%	71.7%
	訪問介護	100/週	5,601	5,435	17.8	97.0%	98.5%	98.8%
	訪問入浴	5/日	1,285	1,240	4.8	96.4%	84.1%	89.3%
	居宅介護支援	160/月	1,920	1,924	160/月	100.2%	103.9%	103.9%
	予防・総合事業プラン	300/月	3,600	3,513	293/月	97.6%		
栄養事業	給食	40食	12,240	12,039	39.5	98.4%	99.5%	107.2%
	配食サービス	68食	19,924	19,218	65.6	96.5%	101.8%	104.6%
市委託事業	やすらぎ支援	年間延派遣回数	154回	実利用者数	6名	支援員登録数	8名	

### 【利用者の動向】

通所介護・認知症通所介護の要介護度の状況

#### ① 通所介護（一般・予防・総合事業）

2019年度	事業対象	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	158	910	1,060	3,052	1,888	982	592	139	8,781
割合	1.8%	10.4%	12.1%	34.8%	21.5%	11.2%	6.7%	1.6%	100.0%
2018年度	事業対象	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	136	923	1,055	3,048	2,194	925	1,078	0	9,359
割合	1.5%	9.9%	11.3%	32.6%	23.4%	9.9%	11.5%	0.0%	100.0%

#### ② 認知症対応型通所介護

2019年度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	0	0	831	738	2,266	1,187	458	5,480
割合	0.0%	0.0%	15.2%	13.5%	41.4%	21.7%	8.4%	100.2%
2018年度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延人数	0	0	926	1,015	1,477	1,103	521	5,042
割合	0.0%	0.0%	18.4%	20.1%	29.3%	21.9%	10.3%	100.0%

## 【職員】

	2019年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2020年4月1日 の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
センター長	1名		1名					0	0	1名		1名
事務長			0名					0	0			0名
介護員	2名	9名	11名			2	1	2	1	2名	10名	12名
相談員	10名	1名	11名	2	3	1		3	3	9名	2名	11名
看護師	1名	6名	7名			1	1	1	0	1名	6名	7名
介護支援専門員	4名	1名	5名			1		1	0	4名	2名	6名
訪問介護員		10名	10名					0	0		10名	10名
運転員		5名	5名				1	0	1		4名	4名
栄養士	2名	1名	3名					0	0	2名	1名	3名
調理・補助・宅配		5名	5名					0	0		5名	5名
理学・作業療法士		1名	1名					0	0		1名	1名
事務員		3名	3名					0	0		3名	3名
高齢住宅管理人		6名	6名				0	0	0		6名	6名
清掃員他(洗浄員)		2名	2名			0	0	0	0		2名	2名
合計	20名	50名	70名	2	3	5	2	7	5	19名	52名	71名

## 【施設運営状況】

### (1) 財務に関する取り組み

2019年度も財務の安定を目標に事業運営に取り組んだ。通所介護は年間16日間の祝日営業や重介護者の積極的受け入れを行い、通所介護以外の事業についても常に利用率を意識して事業運営に取り組んできた。その結果、2019年度桜町高齢者在宅サービスセンター事業全体の当期活動増減差額は6,490千円の黒字(当期資金収支差額については、ヨハネホームに長期借入金の返済を追加で17,000千円行った関係で6,683千円の赤字)で終えることができた。

主な収支に関する取り組み状況は下記の通りである。

- ① 認知症対応型通所介護においては、「ニーズの高い入浴援助希望を含めた新規利用希望者を原則必ず受け入れる」という方針が功を奏し、利用率およそ75%という高い数値を維持できた。
- ② 厳しい状況の中、各事業が数値目標を意識し少しでも実績を残す努力を行った。
- ③ 各事業の状況を踏まえた適正な職員配置を行った結果、人件費を抑えることができた。
  - ・桜町センター全体人件費比率：76.0% (2018年度：81%)
  - ・通所介護事業人件費比率：71.5% (2018年度：73.8%)

今後も財務安定のため取り組んでいかななくてはならないが、2020年1月以降「新型コロナウイルス感染症」の影響が大きくあり、ご利用者様の利用自粛がかなり増えている。三密を回避する意味からは仕方がないと考える必要はあるが、今後の事業運営に大きな影響を及ぼす恐れがある。



## (2) 組織力向上への取り組み

高齢福祉部門の組織力向上について経営会議・部長会議・運営会議・職員会議を中心に取り組んできたが、課題は多く係間や職員間のコミュニケーションの改善を主なテーマに上記会議体で話し合ってきた。今後も継続していくことで、職員が同じ方向を向いて課題に取り組むことのできる関係づくりを目指したい。

- 1) 部長による職員面談を実施。
- 2) 係長による職員面談を実施。
- 3) 部門として、インカム・パソコンネットワーク構築の導入検討を行う。
- 4) インターネットバンキングの導入。
- 5) 運営会議で係間の円滑なコミュニケーションの持ち方について話し合う。
- 6) 職員会議でコミュニケーションに関するグループワークの実施。
- 7) 法人内に若手職員による「魅力発信チーム」が facebook の活用や法人内紹介交流会を実施。(法人内連携)
- 8) 法人合同研修への参加。(法人内連携)
- 9) 危機管理規程、内部通報規程の策定。(法人内連携)
- 10) ヨハネホームの経営悪化の改善に対して法人本部とともに取り組んだ。12/22 ヨハネホーム職員会議には、法人事務局長・在宅部長も出席し現状を伝えた。
- 11) 障がい部門(東京)と食器洗浄委託の契約更新を行う。(法人内連携)

## (3) 人財育成への取り組み

### 1) テキックス(ナラティブサイト)

人財育成・人材確保・人財育成を目的に、本年度も「ナラティブサイト」の活用を高齡福祉部門としてすすめ、介護職員の想いをインターネットへのアップし、ストーリー(冊子)の作成を行う。

### 2) 第三者サービス評価会議

11月には有識者の諸先生方にご出席していただき、第3回高齢福祉部門第三者サービス評価会議を「コミュニケーション」をテーマにワールドカフェ形式で開催し、専門的かつ現実的なご意見をいただく。

また、サービス・業務向上委員会に年3回、第三者委員として武蔵野大学の渡邊先生にご出席いただく。

### 3) サブスタッフ養成における人財育成効果

受託事業の「サブスタッフ養成」事業を通して、受講生に対し職員が主体となり講義・OJTを実施することで、知識や技術の再確認をするプロセスによって人財育成の効果がみられた。

### 4) フィットニングサポートの継続的实施

### 5) 地域との共生(地域包括的ケアの観点から)

- ① 援農活動への参加。
- ② みんなの安心・ささえ愛ネットへの参加。
- ③ 認知症対応型通所介護での地域密着運営推進会議(年2回)の実施。
- ④ 小金井特別支援学校との地域交流。(9月)
- ⑤ やすらぎ支援ボランティアの増員と育成研修。
- ⑥ 「サブスタッフ養成事業」の受託実施。(10月～2月)

- ⑦ 「サブスタッフ」の総合事業通所型サービスでの活用、フォローアップ研修の実施。
- ⑧ 小金井市介護事業者連絡会への積極的参加。(介護・就職フェス、通所グループ会)
- ⑨ グリーンタウン小金井喫茶への地域住民のお誘い。
- ⑩ 第2厨房の地域活動への無料開放。
- ⑪ 市内他通所事業所との「ぼちゃゲーム」を通しての交流。

#### 6) 実習生等受け入れ

- ① 夏の体験ボランティア受け入れ。(7月、8月)
- ② ルーテル学院ソーシャルワーク実習生の受け入れ。(8月)
- ③ YWCA 専門学校生訪問介護実習受け入れ。(2月)

#### 7) 各種研修への参加

- ・6月17日～18日「カトリック老人施設協会関東支部大会(東京)」に参加した。  
(鈴木・金丸・高野)
- ・他、研修参加一覧表参照。

#### (4) サービスへの取り組み

※【利用者支援状況で取り上げ】

#### (5) 高齢部門中期経営計画(2020年度～2022年度)を策定

### 【利用者支援状況】

#### (1) リスクマネジメント

##### 1) 転倒事故

通所介護事業で9/4と9/25に転倒事故が発生した。いずれも介護中の事故ではなく、ご利用者が歩行中に単独で転倒した事故であったが、見守りの強化や物品の置場所など危機管理の更なる徹底が必要である。

##### 2) ヒヤリハット

通所介護係では、2019年度も年間を通してヒヤリハット事例を報告し、ミーティング内で事例の共有・改善策を話し合ってきた。2019年度に事例として挙げたヒヤリハットの分類と件数は下記の通りである。

- ・送迎(25件)    ・入浴(2件)    ・転倒・移動(27件)    ・服薬(5件)
- ・食事(11件)    ・物品返却忘れ(4件)    ・他(28件)

事例の共有・改善策の実施は、事故や苦情を未然に防いでいると考えられる。また、職員の責任感や緊張感をもった対応にもつながっている。

##### 3) 苦情

サービス業務向上委員会の中で苦情や要望、また2019年度は係内のチーム力向上のための事例を取り上げ、内容の振り返りを行い、問題点や改善方法などの意見や提案を各委員から頂戴し、現場業務に生かしてきた。

また、年3回第三者委員の渡邊先生に出席いただき、第三者の立場からも的確な意見を頂戴した。

<2019年度苦情として報告書の挙げた事例>

- ① ケアマネジャーを交代してほしいので管理者と話をしたい。(居宅介護支援係)
- ② 担当者に何度連絡しても内容が伝わらない。(認知症対応型通所介護)

##### 4) 感染症対策

2019年度も高齢福祉部門合同での感染症座学研修を6月に「手指消毒」に関すること、8月に「个人防护服」に関することテーマに開催した。在宅サービス部(桜町)としては、11月にノロウイルス発生時の実技演習研修を行った。

また、各係においても、ミーティング内等で感染症発生時の対応に関する内部研修を行い、10月～3月においては手洗いの徹底、マスクの着用、加湿器の設置、換気、体調の管理（毎朝の体温チェック）等を行い感染症を未然に防ぐ対策を行った。

インフルエンザやノロウイルス感染症の発生はなかったが、1月から世界中で大混乱を起こしている「新型コロナウイルス」感染症については、事業所内で発生しているわけではないが、通所介護の利用を自粛するご利用者様が多くおり、今後の事業運営にも影響が出始めている。また感染症に対するBCPについても感染症対策委員会と協同しながら立案していく必要がある。

## 5) 災害時対応

- ・8/27「福祉二次避難所開設マニュアル」の作成の件で、小金井市地域福祉課と高齢福祉部門で協議を実施した。
- ・10/19 台風19号の接近・上陸にともない、桜町センター内全事業を休止する対応を行う。

## (2) サービスへの取り組み

### 施設重点取組事項

#### 1) 通所介護・受託事業係

##### ① 予防・一般型通所介護、総合事業通所型サービス

- ・ヒヤリハット事例を用いて事例勉強会を定期的実施し、職員の意欲向上や積極的に学ぶ姿勢が感じられ、人財育成に繋がったと考えている。
- ・2019年度もイベントボランティアの積極的な受け入れを行い、月2回位のペースで来所いただいた。また、ご利用者様の声を反映し、総合事業では調理訓練・外出訓練を年6回実施した。その様な取り組みを通してご利用者様の反応は良好で満足度向上につながっていると考えている。
- ・2019年度年間利用率は91%で目標は大きく下回った。収入面でも目標値には大きく届かず厳しい1年であった。2月下旬からの新型コロナウイルスの影響や介護保険報酬の低減も理由であるが、利用率確保の対応を早急に整える必要がある。

##### ② 認知症対応型通所介護

- ・2019年度利用率は74.8%で目標の75%に僅かに届かなかったものの2018年度の68.9%から大きく上昇した。営業の効果や入浴希望者を必ず受け入れる対応の効果が現れていると考えている。しかし新型コロナウイルスの影響から3月の利用率は低下傾向にあり今後の動向が懸念される。
- ・認知症対応型通所介護として、一般型通所介護とは違うアピールポイントの構築は、以前からの課題となっているがなかなか着手できていない。今後利用率を安定させていくためにもこの課題克服は急務である。

##### ③ 地域支援事業（小金井市受託事業）

###### <やすらぎ支援事業>

2019年度末現在9名のやすらぎ支援員が登録しており、うち8名が活動中である。ご利用者様は6名が事業利用されており、訪問開始から今年で6年目を迎えるご利用者様もみえる。年間2回の支援員懇談会を開催し、支援員間の交流や傾聴の様子、ご利用者様のケースを皆で共有しながら次の傾聴活動に活かしていただく機会になった。

現在の予算では、ご利用者様数・登録やすらぎ支援員数ともに拡大していく事は難しい

が、介護支援専門員や包括からの依頼があれば、出来る限り調整してご利用様の支援を行いたいと考えている。

また、認知症サポーター養成講座の事務局機能も委託されており、適切なオレンジリング・テキストの在庫管理に努めている。

#### <家族介護教室>

「高齢者の体調管理」をテーマとして2020年3月19日に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とした。

#### <サブスタッフ養成・活動事業>

10月から2月にかけて、市内近隣に居住の65歳以上のお元気高齢者を対象に、介護予防に関する13回の講義と13回のOJTを行う「サブスタッフ養成事業」を実施。4名の方が卒業され、サブスタッフとして、今後総合事業通所型サービスや地域資源の場での活躍が期待される。

この受託事業は2019年度で4回目であったが、地域社会を支える人材を育成していくという大きな目的を果たしている他、職員が受講生に直接講義やOJTを行うということから、職員の人財育成の面でも大きな効果がみられている。

また、今までに養成講座を卒業された計8名の方が、桜町センター総合事業通所型サービスの「サブスタッフ」として、ご利用様の支援、職員の手助けに役立つ活動を行っている。

#### ④ グリーンタウン高齢者住宅管理（小金井市受託事業）

現在70世帯84名の入居者を対象に管理人6名で、月曜～土曜の日中帯に巡回や安否確認の管理業務を行っている。

管理人とご入居者様との信頼関係は良好で、居宅介護支援事業所や介護保険事業者など、関係機関とも報告・連絡・相談を行うことで、安心した生活づくりに貢献できたと感じる。また、月1回グリーンタウン喫茶を実施し、管理外の地域に住まわれている高齢者も参加され入居者同士や地域の交流の場となっている。

### 2) 訪問サービス係

#### ① 訪問介護

数値目標はほぼ達成できた。サービス目標である「より要支援、喜ばれるサービスの継続」についてもご利用様・ご家族様から信頼されるサービス提供ができたと考えている。また、「業務を円滑に行うためのチームづくり」についても“ヘルパー検討会を通じて訪問介護におけるサービス行為ごとの区分等“の認識の共有やサービス提供記録の見直しを行う中で取り組みを実施した。

#### <今後の課題>

- ・身体介護の重度者へのケアニーズに対応できる体制（24時間対応・吸痰吸引等）がないため、サービス依頼は生活援助や軽度の身体介護が中心となっており、生活援助や軽度の身体介護を主力のサービスとしてどう特色付けていけるか。
- ・ヘルパーの高齢化がすすみ、新たな人財をどう確保していくか。

#### ② 訪問入浴介護

A：多様なニーズ・医療ニーズに応えるためのサービス提供について

- ・主治医や訪問看護事業所との情報共有や連絡を強化し、安心安全なサービスを提供できたと考える。

- ・癌終末期のご利用者様については、面接・契約後にそのまま初回サービス提供を行い、ニーズに対応した。

#### B：財務の安定への貢献について

- ・体調の関係から、ご利用者様の入れ替えが激しく数値目標は達成できなかった。
- ・「サービス利用状況の報告書による情報提供」「担当者会議への出席」「急な相談への対応」「簡易パンフレット作成と配布」により、相談依頼件数は確実に伸びている。

#### C：高齢福祉部門の他事業とも協働した取り組み

- ・キャンセル等空き時間の通所介護事業への手伝いを実施。
- ・訪問介護とも共同し、ヨハネホームとの介護研修や介護体験会の実施。
- ・訪問サービスの視点から考える桜町センター会議での提案。
- ・法人合同職場紹介で訪問入浴のデモンストレーションを実施。

### 3) 栄養部（総合給食係）

#### ① 日々の生活に楽しみが持てるような食の提供について

- ・検食や他職種の意見を行事食等に反映した。
- ・食事の適温提供は実施できた。
- ・咀嚼嚥下困難者に対して、アセスメントを実施し食形態や食事環境の変更等に反映することを実施した。
- ・年間 100 日以上咀嚼嚥下調整食の提供を行った。
- ・満足度アンケート調査は未実施であった。
- ・ミーティング方法の見直しはできておらず、2020 年度も継続して取り組む。

#### ② 業務の中央化・統合化を視野に入れた給食経営マネジメントシステムの見直し

- ・部門としての栄養事務の一元化はできていない。
- ・食形態やとろみ勉強会を実施した。

#### ③ 衛生管理の強化について

- ・衛生管理マニュアルの見直しは実施できていない。
- ・異物混入事例が発生した。

#### ④ 災害時に備えるについて

- ・災害時の非常食訓練は実施できなかった。

### 4) 居宅介護支援係

#### ① ご利用者様の課題把握と課題解決について

- ・定期ミーティングで、各自のケアプランや意見を安心して開示する雰囲気できており、課題解決への一助となっている。
- ・感染症の時期のインテーク面接 2 人態勢については課題がある。

#### ② 法人内サービスや地域の事業者との連携について

- ・法人内サービスへの苦情や気付きについて提案を行った。
- ・11/22 に特定事業所加算を取得している市内 3 事業所と共同で事例検討会を実施。10 名のケアマネジャーが出席して活気ある検討会となった。

#### ③ 業務の標準化・働きやすい職場づくりへの取り組みについて

- ・業務手順書については改定や補足を目的とするのではなく、「年 1 回確認を行い必要があれば改定や補足を実施する」とするべきであった。
- ・働きやすい職場づくりのため、「感染症発生時を考えた事業の継続性」や「職員の年齢

構成」について考えていく必要を感じる。

#### ④ 数値目標について

- ・月間 160 件の数値目標はぎりぎり達成した。減算もなく小金井市の実地調査も無事に終了したが、運営基準や給付管理に対する知識・理解レベルに職員によって差があるため改善が必要である。

### 5) 地域包括支援係（小金井きた地域包括支援センター）

#### ①「地域の方が安心して相談できる包括、頼りがいのある包括を目指す」目標に対して

包括に寄せられる相談は多岐にわたり、職員のスキルが求められることも多かった。とりわけ精神疾患のある方への支援は専門知識も必要となるため、関係機関に協力要請し共に支援に入った。研修や勉強会に参加し、問題解決能力向上のために自己研鑽を図ったが、部署内での伝達研修は徹底できなかった。

職員の入れ替わりがあり、困難ケースや虐待対応は経験のある職員が対応せざるを得ず指導体制を確立する余裕がなかった。その結果業務に偏りが生じ、チーム力を向上するには至らなかった。個々の能力をどう引き出すかが課題である。

介護に関する相談では、公的なサービスの情報に留まらず地域社会資源も積極的に紹介した。主なものとして高齢者向けサークル活動、小金井さくら体操、障がい者を対象としている活動、一般向けのカルチャー講座など相談者のニーズに合ったものである。

個人での対応が難しい相談については、朝の打ち合わせ時やミーティング内で検討し、「報・連・相」の徹底を図る取組みをした。

#### ②「地域包括ケアシステムの推進に貢献できる人財となる」目標に対して

地域住民・民生委員・関係機関から、問題となっている事柄を取り上げ、問題解決に向けて個別会議、小地域会議を開催した。2019 年度は個別会議を 2 回開催し、ちょっとした困りごとを支援に結びつけていくために「ちょこボラ」を立ち上げ、会議も開催したがなかなか発展させることはできなかった。そこで近年多発する災害に着目し、災害時の助け合いをテーマに地域支援を考えていくこととした。これは 2020 年度以降にも繋げていくものだと考えている。

生活支援コーディネーターを中心に地域の特性（強み）、課題の掘り起こしを積極的に行い、「みんなの安心・ささえ愛ネット」「ないまぜの会」などネットワークづくりに関わった。

認知症に対する取り組みとしては「認知症になっても安心して住み続けられるまちづくり」のため、認知地域支援推進員を中心に地域の方々向け、企業向け、市職員向けに認知症サポーター養成講座を実施している。

#### ③「医療と介護の連携・協働をすすめる」目標に対して

医療と介護の連携会議をはじめ他の研修・会議に参加し、顔の見える関係づくりや多職種の連携に取り組んできた。また、「地域とつながる応援ブック」の配布により地域住民や他機関との情報共有・連携・つながりのきっかけとして有効に活用した。

認知症の疑いがある利用者の相談に対しては、桜町病院などの専門医に繋げることができた。

<2019年度事業実績件数>

① 総合相談・支援業務	3,695 件
② 虐待・権利擁護	14 件
③ 包括的・継続的ケアマネジメント	194 件
④ 予防給付介護予防ケアマネジメント	1,799 件
⑤ 総合事業ケアマネジメント	1,639 件
⑥ 地域介護予防活動支援事業	リハ連協働イベント 12 回
⑦ 認知症サポーター養成講座開催	7 回





2019年度 部門別達成率

2020/4/10

桜町高齢者在宅サービスセンター

上段:人(件) 下段:千円

(標準執行率 100.0%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
一般デイ	人数予算	30人	812	752	782	842	850	782	842	820	752	752	782	804	9,572
	実績		740	687	707	820	799	734	814	775	718	670	660	657	8,781
	差額		-72	-65	-75	-22	-51	-48	-28	-45	-34	-82	-122	-147	-791
	達成率		0.91	0.91	0.90	0.97	0.94	0.94	0.97	0.95	0.95	0.89	0.84	0.82	0.92
認知デイ	人数予算	8300	6,740	6,241	6,491	6,989	7,055	6,491	6,989	6,806	6,241	6,241	6,491	6,673	79,448
	実績		6,229	5,575	5,889	6,583	6,387	5,641	6,434	6,413	5,805	5,537	5,499	5,513	71,505
	差額		-511	-666	-602	-406	-668	-850	-555	-393	-436	-704	-992	-1,160	-7,943
	達成率		0.89	0.89	0.91	0.94	0.91	0.87	0.92	0.94	0.93	0.89	0.85	0.83	0.90
デイ計	人数予算	17人	442	408	425	459	459	425	459	442	408	408	425	442	5,202
	実績		474	444	473	517	505	460	467	483	423	397	441	395	5,479
	差額		32	36	48	58	46	35	8	41	15	-11	16	-47	277
	達成率		1.07	1.09	1.11	1.13	1.10	1.08	1.02	1.09	1.04	0.97	1.04	0.89	1.05
訪問入浴	人数予算	13000	5,746	5,304	5,525	5,967	5,967	5,525	5,967	5,746	5,304	5,304	5,525	5,746	67,626
	実績		6,351	5,673	6,196	6,721	6,547	5,888	6,220	6,382	5,645	5,268	5,825	5,258	71,974
	差額		605	369	671	754	580	363	253	636	341	-36	300	-488	4,348
	達成率		1.11	1.07	1.12	1.13	1.10	1.07	1.04	1.11	1.06	0.99	1.05	0.92	1.06
訪問介護	人数予算	50人	1,254	1,160	1,207	1,301	1,309	1,207	1,301	1,262	1,160	1,160	1,207	1,246	14,774
	実績		1,214	1,131	1,180	1,337	1,304	1,194	1,281	1,258	1,141	1,067	1,101	1,052	14,260
	差額		-40	-29	-27	36	-5	-13	-20	-4	-19	-93	-106	-194	-514
	達成率		0.97	0.98	0.98	1.03	1.00	0.99	0.98	1.00	0.98	0.92	0.91	0.84	0.97
ケアマネ	人数予算	14398	1,584	1,584	1,512	1,584	1,655	1,511	1,584	1,584	1,440	1,440	1,511	1,584	18,573
	実績		1,482	1,333	1,467	1,400	1,491	1,379	1,664	1,397	1,300	1,513	1,656	1,495	17,577
	差額		-102	-251	-45	-184	-164	-132	80	-187	-140	73	145	-89	-996
	達成率		0.94	0.84	0.97	0.88	0.90	0.91	1.05	0.88	0.90	1.05	1.10	0.94	0.95
ケアマネ(設定調査)	件数予算	週100件	416	400	416	433	433	384	433	400	400	384	384	416	4,899
	実績		421	467	469	483	445	443	474	438	439	463	456	476	5,474
	差額		5	67	53	50	12	59	41	38	39	79	72	60	575
	達成率		1.01	1.17	1.13	1.12	1.03	1.15	1.09	1.10	1.10	1.21	1.19	1.14	1.12
きた包活	人数予算	160件	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	1,920
	実績		162	161	164	161	167	160	161	163	157	157	160	154	1,927
	差額		2	1	4	1	7	0	1	3	-3	-3	0	-6	7
	達成率		1.01	1.01	1.03	1.01	1.04	1.00	1.01	1.02	0.98	0.98	1.00	0.96	1.00
食事(デイ食)	人数予算	17200	2,752	2,752	2,752	2,752	2,752	2,752	2,752	2,752	2,752	2,752	2,752	2,752	33,024
	実績		2,851	2,839	2,875	2,806	2,918	2,809	2,827	2,880	2,755	2,750	2,812	2,705	33,827
	差額		99	87	123	54	166	57	75	128	3	-2	60	-47	803
	達成率		1.04	1.03	1.04	1.02	1.06	1.02	1.03	1.05	1.00	1.00	1.02	0.98	1.02
食事(自由配食)	人数予算	4320	21	22	21	22	21	22	21	22	22	22	21	22	259
	実績		21	22	21	22	17	22	22	9	22	17	17	17	229
	差額		0	0	0	0	-4	0	1	-13	0	-5	-4	-5	-30
	達成率		1.00	1.00	1.00	1.00	0.81	1.00	1.05	0.41	1.00	0.77	0.81	0.77	0.88
食事(自由配食)	人数予算	69食	1,700	1,632	1,700	1,768	1,768	1,564	1,700	1,632	1,632	1,564	1,564	1,700	19,924
	実績		1,601	1,571	1,625	1,722	1,722	1,614	1,735	1,541	1,530	1,496	1,495	1,566	19,218
	差額		-99	-61	-75	-46	-46	50	35	-91	-102	-68	-69	-134	-706
	達成率		0.94	0.96	0.96	0.97	0.97	1.03	1.02	0.94	0.94	0.96	0.96	0.92	0.96
合計	人数予算		21,770	20,709	21,198	22,332	22,468	21,077	22,270	21,776	20,565	20,505	21,076	21,704	257,450
	実績		21,642	20,187	21,497	22,692	22,417	20,570	22,343	21,933	20,270	19,890	20,546	19,647	253,634
	差額		-128	-522	-699	360	-51	-507	73	157	-295	-615	-530	-2,057	-3,816
	達成率		0.99	0.97	1.01	1.02	1.00	0.98	1.00	1.01	0.99	0.97	0.97	0.91	0.99



2019年度 研修実施一覧表（期間 2019/4/1～2020/3/31）

（部署名 通所介護、訪問介護、訪問入浴、栄養、他センター全体）

日程	分類	研修内容	場所	氏名
4/1	新任研修	法人合同新入職員研修	戸塚ホール他	小野真裕
5/10	その他	腰痛予防対策研修会(高齢部門合同)	桜町センター	介護職員
5/15	訪問介護	サービス提供責任者セミナー	新橋社会保険協会	志藤将
5/16	訪問介護	サービス提供責任者セミナー	新橋社会保険協会	丸田春香
5/17	訪問介護	サービス提供責任者セミナー	新橋社会保険協会	織茂成美
5/17	栄養	生産性向上HACCP制度化ソリューションセミナー	中央区	長津宏史
6/7	感染症	感染症研修「手指消毒について(高齢部門合同)	桜町センター	全職員
6/6～7/30	認知症	認知症介護実践者研修・管理者研修	茗荷谷 他	田丸伸彦
6/14	防災	自衛消防研修	小金井消防署	窪田梓 小野真裕
6/14	その他	事業者連絡会(通所グループ会)	小金井あんず苑	鈴木治実 古賀直人
6/20	栄養	栄養士情報交流会	立川	山口有昭
6/17～18	人材育成	カトリック老施協関東支部大会	サンプラザ中野	鈴木治・高野・金丸
7/12	その他	お金のセミナー(法人合同)	戸塚ホール	鈴木治実 金光昌子
7/23	介護保険	特定事業所加算説明会	飯田橋セントラルプラザ	鈴木治実
8/9	感染症	感染症研修「個人防護服について(高齢部門合同)	ヨハネホーム	看護師
8/23	虐待	高齢者虐待防止研修	ルネ小平	鈴木治実
8/27	栄養	東京EAT(食べるを支える)	東小金井	山口有昭
8/28	栄養	学会分類 解説セミナー	立川	長津宏史
9/11	組織	ハラスメント研修(法人合同)	戸塚ホール	4名参加
9/24	その他	事業者連絡会(通所グループ会)	小金井あんず苑	鈴木治実 古賀直人
10/3	組織	福祉施設職員のストレスケア(法人合同)	戸塚ホール	4名参加
11/6	栄養	東京EAT(食べるを支える)	東小金井	山口有昭
11/15	その他	小金井介護事業者連絡会「介護未来フェス」	宮地楽器ホール	鈴木治・古賀・星野
11/15	訪問介護	実地指導対策に向けた体制要件を満たす取り組み	新宿文化センター	志藤将
1/30	栄養	とろみの試食勉強会	桜町センター	多数参加
2/7	その他	事業者連絡会(通所グループ会)症例発表	萌え木ホール	鈴木治実 古賀直人
2/15	その他	小金井介護事業者連絡会「就職フェス」	小金井イネル	鈴木治実

(部署名 居宅介護支援係) 桜町ケアマネージメントセンター

日程	分類	研修内容	場所	氏名
7/11	虐待防止	第1回ケアマネ勉強会「虐待」	社会福祉協議会	高野満知子
7/13	医療	フレイル・サルコペニア	三鷹産業プラザ	金丸直子
8/6	医療	地域で生きる難病の方を支援するために	なかのZERO大ホール	金丸直子
8/23	虐待防止	高齢者虐待防止	ルネこだいら	遠藤直美
10/1	虐待防止	高齢者虐待について	社会福祉協議会	高野満知子
10/15	医療	高齢者のせん妄～治療から予防へ	戸塚ホール	塩田美紀
11/2	医療	難病の方の地域生活を支える	前原暫定集会室	高野満知子 古川洋美
11/14	医療	在宅医療ケア勉強会(がん患者の在宅医療)	医師会館	遠藤 高野 古川 塩田
11/22	医療	平穏死という選択(東京都主催)	ルネこだいら	古川洋美
11/28	その他	医療介護多職種連携研修会(連携するうえでの困りごと)	宮地楽器ホール	古川洋美
12/7	栄養	東京都介護支援専門員研究協議会中規模研修	ビジョンセンター新宿	金丸直子
12/18	医療	小金井市医師会 看取り研修会	宮地楽器ホール	金丸直子
1/20	その他	ケアマネ勉強会(多職種連携について)	社会福祉協議会	古川洋美
1/24	その他	在宅医療ケア勉強会(人生会議・ACP)	医師会館	遠藤直美 塩田美紀
1/27	その他	小金井市介護支援専門員研修(ACP)	萌え木ホール	高野満知子 金丸直子
2/7	その他	介護事業者連絡会(症例発表会)	萌え木ホール	高野満知子
2/12	その他	小金井市介護支援専門員研修会(事例検討)	萌え木ホール	遠藤直美
2/13	その他	小地域ケア会議(きた・災害対応)	戸塚ホール	古川洋美
2/19	その他	小金井市介護認定調査員現任研修	萌え木ホール	塩田美紀
12/13～2/28	その他	東京都介護支援専門員研修 専門Ⅱ	ハイライフプラザいたばし	遠藤直美

(部署名:地域包括支援係) 小金井きた地域包括支援センター

日付	分類	研修内容	場所	氏名
5/16	在宅医療	在宅医療ケア勉強会	医師会館3階大会議室	小野真裕
6/13	その他	第7回医療・介護多職種連携会議	宮地楽器小ホール	高野美子 小野真裕
6/17	権利擁護	三市合同研修(虐待事例検討会)	社会福祉法人至誠学舎 東京研修センター	小野真裕
6/17,18	その他	生活支援コーディネーター初任者研修	飯田橋リロの会議室	中川麻砂子
6/17,18	その他	カトリック老人施設研修	中野サンラザ/徳田教会	高野美子
7/2	認知症	若年性認知症相談支援研修	東京都社会福祉保健医 療研修センター9階	小野真裕
7/10	その他	三市合同研修	武蔵境スイングホール	高野美子 中川麻砂子
7/11	その他	第1回ケアマネ勉強会	小金井市社会福祉協議 会・2F会議室	高野美子 小野真裕
7/19	権利擁護	権利擁護テーマ別研修「セルフネグレクトへの支援」	東京都保健福祉財団	中川麻砂子
7/31	その他	ケアマネジメント質の向上ガイドライン研修	ルミエール府中	高野美子
8/2	認知症	三市・認知症高齢者と家族支援のための事例研究会	社会福祉法人至誠学舎 東京研修センター	星野廣平
8/8	その他	東京都キャラバン・メイト養成研修	東京都社会福祉保健医 療研修センター7階	小野真裕
8/22	その他	ケアマネジメント質の向上研修	ルミエール府中	峠恭子
8/19	認知症	若年性認知症相談支援研修	トヨタドライビングスクール東京	中川麻砂子
10/3	権利擁護	権利擁護テーマ別研修「高齢者虐待対応における家族 の関係性に焦点をあてた支援と介入」	東京都保健福祉財団	高野美子
11/28	その他	第8回医療・介護多職種連携会議	宮地楽器小ホール	高野美子 小野真裕
12/5	認知症	認知症地域づくり支援研修	ベルサール新宿グランドコンファレンス センター5階	佐伯良子
12/14	その他	地域包括支援センターで働く看護職のための交流 会	東京都看護協会大会議 室	佐伯良子
1/9,10	その他	東京都地域包括支援センター職員研修(現任研修)	東京都保健福祉財団	中川麻砂子
1/11,16	その他	入退院時連携強化研修	東京都看護協会・住友ス カイルーム47階	高野美子
1/20	その他	第3回ケアマネ勉強会	小金井市社会福祉協議 会・2F会議室	高野美子 峠恭子
1/24	介護予防	オールラフレイル研修会	日本歯科医科大学口腔リハビリテ ーション多摩クリニック	星野廣平
1/27	その他	令和元年度第1回小金井市介護支援専門員研修「アドバンスケ アプランニング(ACP)～自立支援に向けたケアマネジメント～」	萌え木ホールA会議室	高野美子 峠恭子
2/3	その他	令和元年度 スーパービジョン研修社会福祉の専門家と しての職員の成長を支える	東京都社会福祉保健医 療研修センター	高野美子

### Ⅲ 本町高齢者在宅サービスセンター（通所介護）

#### 【2019年度利用状況報告】

##### 1. 事業別利用率状況（3か年の推移）

種別	定員	1日平均 利用者数	利用率 (2019)	利用率 (2018)	利用率 (2017)
通所介護（一般・予防）	25名	23.3名	92.8%	93.6%	92.5%
認知症型通所介護	12名	10.3名	85.7%	79.2%	84.5%
食の自立支援事業	80名	82.9名	103.6%	104.2%	105%

##### （1）通所介護（予防型・一般型）

###### ①要介護度別実人数・延べ人数

介護度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
実人数	26	36	375	210	141	70	13	871
割合	2.9%	4.0%	42.1%	23.6%	15.8%	7.9%	1.5%	97.8%
介護度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延べ人数	98	294	2854	1808	1340	642	76	7112
割合	1.4%	4.1%	40.1%	25.4%	18.8%	9.0%	1.1%	100.0%

###### ②基本属性

平均年齢 87歳（最高101歳男性、最低63歳女性）

男女比率 男性26%：女性74%

利用登録者 要介護者 69名 要支援者 5名 合計 74名

新規利用者 31名 主な利用理由（外出機会の確保・転倒や認知症予防・趣味活動参加での生きがい作り・入浴希望等）

廃止利用者 27名 主な廃止理由（逝去・施設入所・転居・他サービス利用）

##### （2）認知症対応型通所介護

###### ①要介護度別実人数・延べ人数

	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
実人数	0	0	30	18	60	74	188	370
割合	0.0%	0.0%	8.1%	4.9%	16.2%	20.0%	50.8%	100.0%
介護度	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
延べ人数	0	0	249	53	758	596	1474	3130
割合	0.0%	0.0%	8.0%	1.7%	24.2%	19.0%	47.1%	100.0%

###### ②基本属性

平均年齢 85歳（最高98歳女性、最低70歳男性）

男女比率 男性31%：女性69%

利用登録者 要介護者 29名 要支援者 0名 合計 29名

新規利用者 17名 主な利用理由（認知症の方の全面的支援認知症ケア・見守り対応・家族介護軽減・入浴希望・その他等）

廃止利用者 18名 主な廃止理由（逝去・施設入所・長期入院）

## 【職員】

	2019年4月1日の 職員数			年間退任・就任						2020年3月31日の 職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤職員	合計
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
センター長	1名		1名							1名		1名
9生活相談員	4名		4名							4名		4名
介護職員		12名	12名								12名	12名
看護職員		4名	4名			1		1			5名	5名
栄養士調理員		4名	4名								4名	4名
宅配員		11名	11名			5		5			16名	16名
食の自立 Co		1名	1名								1名	1名
事務員		1名	1名								1名	1名
運転員		4名	4名								4名	4名
清掃員		2名	2名								2名	2名
合計	5名	39名	44名			6		6		5名	45名	50名

※但し、兼務者は主たる業務でカウントしている。

## 【施設運営状況】

### 1. 指定管理協定更新の4年目

2019（平成31/令和元）年度は小金井市の指定管理協定の第4期（5か年：2011年度～2015年度）を経て、**第5期（5か年：2016年度～2020年度）の4年目**であった。

法人部門においては第3期中期経営計画【2017（平成29）～2019（平成31）年度】の最終年度として相応しい成果をあげられるよう経営の恒常的安定を目指し、ご利用者支援の在り方改革、職員の意識改革、経営体質の更なる強化、経営ノウハウの共有と実施に取組んだ。その成果は、平成30年度東京都デイサービスセンター経営実態調査結果にも表れている通りである。

年度	サービス活動収益対経常増減差額比率	
	本町センター	都内公設民営平均
2017（H29）	5.29%	2.82%
2015（H27）	15.42%	3.04%
2014（H26）	12.91%	5.48%

※2017（H29）年度からは人件費率を都内平均並みにアップし、職員の業務負担感の軽減を図り、サービス業務の向上と長期的経営基盤づくりにつなげている。

※ちなみに、東社協のデイサービス経営実態調査結果は、当該年度の前年度分が公表される仕組みなので、2019（H31/R1）年度の実態調査は2020（R2）年度示される予定である。

### 2. 財務報告

2019（H31/R1）年度は介護保険制度の改定による介護報酬費の見直しはなかった。

2018（H30）の改定前と改定後で、7～8時間の介護報酬差額は下表通り。

2018（H30）以前の年間平均収入と比較すると、減収はおおよそ、一般デイで年間120万円、認知症デイでは210万円で、合計330万円と見込んでいる。

### 通常規模型通所介護

	【従来】	【2018(H30)～】		参考値 8時間以上 9時間未満
	①7時間以上 9時間未満	②7時間以上 8時間未満	②-① 報酬差	
要介護1	656	645	-11	656
要介護2	775	761	-14	775
要介護3	893	883	-10	893
要介護4	1021	1003	-18	1021
要介護5	1144	1124	-20	1144
平均	898	883	-15	898

### 認知症対応型通所介護

	【従来】	【2018(H30)～】		参考値 8時間以上 9時間未満
	①7時間以上 9時間未満	②7時間以上 8時間未満	②-① 報酬差	
要介護1	1030	985	-45	1017
要介護2	1141	1092	-49	1127
要介護3	1253	1199	-54	1237
要介護4	1365	1307	-58	1349
要介護5	1477	1414	-63	1459
平均	1253	1199	-54	1238

また、当センターでは他デイでは積極的に引き受けない認知症高齢者の短時間利用のニーズに対し、**フィッティングサポート<sup>1</sup>**を提供してきた。しかし、相談員個人の判断で進めることが少なくなかったため減収傾向を強めていった。

そこで、2019年度からはフィッティングサポートは、個人では判断させず、あくまで組織的な判断をもって実施することを改めて確認しルールとした。

利用率は、都下公設民営（定員30人超40人以下の規模）で平均81.66%<sup>2</sup>のところ当センターは90.5%であった。

しかし、他方で一般デイの利用者介護度は軽度化傾向にある。次期介護保険制度改定では要介護2までを総合事業に移行する可能性も示唆されており、このままではデイサービスの経営が成り立たなく恐れがある。

また、認知症対応デイも、要介護3以上の介護度になると施設入所傾向が強まる。ショートステイを多用し、いずれは入所。と、こちらも利用率の維持は厳しい状況だ。

ただ、ご家族のなかには、最期まで自宅で看取ってあげたいと願う方もおられる。本町センターでは、こうした介護者ニーズを後押しするため、看護師体制を充実させ、必要な看護サービスが提供できるよう取り組んできた。

その結果、特に認知症デイでは、重度者の紹介が得られるようになり、稼働率の厳しさをフォローアップすることができている状況にある。

さて、このような状況のなか本年度（2019（H31/R1）年度）決算は、資金収支会計で**当期資金収支差額合計（運転資金）**は借入金なく、800万円の黒字（昨年度は340万円）。前年度比では2.35倍の成果を収めている。

また、事業活動収支会計は、**当期サービス活動増減差額**（1年間の経営成績）は、694万円の黒字で（昨年度は79万9千円）、前年度比では8.68倍で614万円のプラスである。

事業活動収支会計における**介護保険事業収益**は1億5,697万円であった。（昨年度は1億4,943万円）前年度比は105%（+754万円）となっている。

<sup>1</sup> 人としての尊厳が守られる生活が営めるよう、ケースの個別性に応じ、サービス利用ラインに乗せるために必要な信頼関係形成とサービスフィッティングに係る手間（福祉サポート）をフィッティングサポートと定義する。

<sup>2</sup> 2018（H30）年度デイサービスセンター経営実態調査結果（東社協）



ちなみに、**人件比率**は69.8%（昨年度は72.7%）で、昨年度よりも抑制した。都下公設民営（定員30人超40人以下の規模）の平均人件費比率は71.49%だが、1.69ptの抑制を図ったことで、稼働率の不安定さをフォローし、尚且つ収益をさらに向上させた。

最後に、**財務関連の特記**を記す。施設サービス部（ヨハネホーム）が2017年～2018年度と2期連続赤字が続いた。その余波はいまも続き、今期も残念ながらV字回復は厳しいとの報告であった。これに対し、本来予算上は3月期賞与は0.5カ月（対象：常勤・準職員）の予定であったが、在宅サービス部としては、明日は我が身であるということ、また、施設サービス部の奮起を願い痛みを分かち方針とし、0.25か月分のみ支給となった。幸か不幸かこのことも当センターにとっては収益率をあげた結果に繋がった。（参考：2/26付統括施設長発信文）

### 3. 小金井市実地検査（2019年11月29日）

認知症対応型デイサービスの実地検査を受審しました。特に大きな指摘事項もなく無事検査を終えている。引き続き、法令遵守にもとづいた適正な運営に取り組んでゆく。

#### 【利用者支援状況】 ＊は本年度新規

##### 1. サービス方針に則った取組み

##### 1) 人格を尊重した福祉の実践

##### (1) 労務環境改善取組み

- ① 新任研修振り返り交流会（4月）
  - ② 処遇改善計画の立案・実施
    - ・ 処遇改善手当対象外職員への賃金改善など
    - 相談員で介護員業務や送迎運転に従事している職員に対し、介護福祉士手当加算ならびに送迎運転手当加算に相当する手当を施設持ち出しで支給することを決めた。（4月～）
    - ・ 腰痛ベルト支給、国家資格受験料助成、健康管理支援（メンタルヘルスチェック、健康診断オプション検査助成）
  - ③ 雇用促進
    - 配食配達員（5名）、看護師（1名）採用
  - ④ 腰痛予防対策
    - ・ 腰痛予防対策講座（5月）
    - ・ 腰痛ベルト支給
  - ⑤ メンタルヘルス対策
    - ・ ストレスチェックの実施（中央労働災害防止協会）
    - ・ コミュニケーション標語の朝礼時唱和二巡目
  - ⑥ 建物設備機器更新
    - ・ 1・2階系統GHPエアコン修繕（5月・2月）
    - ・ チェアインバス購入入替（8月）
    - ・ 厨房漏水修繕工事（3月）
  - ⑦ 記録の見直し
    - ・ ご利用者連絡ノートフォーマット見直し
  - ⑧ 職員親睦
    - ・ 高齢福祉部門暑気払い（職員懇親会 8月）
    - ・ 本町センター職員手づくり親睦会開催（9月）
    - ・ 職員慰労会開催（12月）
- \* チャレンジ・サラメシ（年間を通して）
- ⑨ インターネットバンキング導入

## (2) 人材育成取組み

### ①理念に則った支援の遂行

- ・ 聖ヨハネ会高齢福祉部門新入職員研修会 4/2 (火)  
高齢者の権利擁護について学ぶ～人間支援者の基本姿勢～  
本町高齢者在宅サービスセンター センター長 山極 愛郎
- \* 日本カトリック老協全国正副支部長会 (4月)
- \* カトリック老人施設協会 関東支部大会 6月 (東京中野) の企画・開催  
「キリスト教高齢者施設で生きる私・私たち・利用者」  
上智大学大学院 伊藤 高章 教授  
「カトリック施設・法人の課題と期待するもの」  
カトリック東京大司教区 タルチシオ 菊池 功 大司教
- ・ 職員会議の活用 (四半期ごとの振り返り)
- ・ ヨハネ会職場紹介「桜町センター訪問入浴」 (1/31 3名)

### ②権利擁護の意識醸成

- ・ 人権・権利擁護研修 (2名)
- ・ 第三者委員参加によるサービス・業務向上委員会の実施
- ・ ストレスチェックの実施 (5月)  
「介護現場でのハラスメント」(2名)「福祉施設職員のストレスケア」(1名)
- ・ 虐待の芽チェックリストの実施・分析
- ・ 高齢者虐待防止のための組織体制チェックリストの実施・分析 (1月)

### ③介護職員向け研修

- ・ 「持ち上げない介護」伝達研修 (4/13 6名)
- ・ 「認知症リレー研修」(2/22 1名) →新型コロナウイルスにて中止
- ・ 「高齢者介護と脳卒中」(2/25 2名) →新型コロナウイルスにて中止
- ・ 「嚥む、飲み込むが困難な人の食事」(3/12 1名) →新型コロナウイルスにて中止

### ④東京都都内介護人材の状況調査協力 (10月 認知デイ 4名)

## (3) その人らしさの追求取組み

### ①事例勉強会・ケア勉強会の定期開催

- ・ 毎月第二水曜日 18:00～

### ②理美容サービスの提供 (毎月実施)

- ・ 床屋や美容室に行けない方に対しセンターで理美容サービスを提供している。

### ③身だしなみチェック・清潔整容ケアの実施

- ・ 高齢者世帯、独居世帯など介護力が不足しがちな在宅環境にあるご利用者様は、細やかなケアが十分に受けられない実態がある。そのため、センターでは来所時に身だしなみを確認し、清潔整容のケアが十分行き渡るように取り組んでいる。

### ④「ご利用者様も職員も今を生きている実感が持てる過ごし方をしよう」を認知症ケアのビジョンへの取り組み。

### \* 認知症デイサービスのフロア環境の改善

- ・ ビジョンに合ったケアの実践  
⇒ご利用者様への支援を「あなた任せ」にせず、各人が主体となって支援を考える  
きっかけとするために①その人らしく②最期まで③家族や友人に支えられながら  
④家族介護者を様々な支援者と共に⑤主体的に互いを支えあう関係性を構築する。

## (4) 愉しみ、張り合い、心地よさの追求取組み

### ①愉しみ

- ・ 給食会議の定例化 (毎月第2火曜日)
- ・ 行事食や食形態の見直し等を検討。

- \* 菜園づくりと収穫物の調理や試食
  - ・ 梅シロップ、ラッキョウ漬け、スイートポテトづくり、キンカンジャムづくりなど
- ② 張り合い
  - ・ 第7回「コピック・アート作品展」開催（2019/4/17～4/20 於：宮地楽器ホール）
  - \* 多世代交流（信愛保育園紙芝居、小金井まちあそび）
  - \* 外出企画の立案を実施（お花見 in 学芸大学 notecafe、神代植物公園、府中マロコ珈琲、倉式珈琲、cafe5884、ブルーメンマーケット、市内農園など）
  - \* 個別機能訓練用マシン「セラトレーナー」デモ機搬入（4月）
    - ・ 文化祭作品コーナーへの展示（11月）
  - \* 「私とあなたの思い出写真コーナー」の実施（認知デイ）
- ③ 心地よさ
  - ・ 一般デイ・事務室、飾り棚・天板修繕
  - \* 2階相談コーナー用パーテーション購入（7月）
  - \* 「ご利用者様をより良く理解するためのアンケート」（認知デイ）
    - 回答が難しいご家族に対しては、聞き取り訪問を実施する。
- ④ 重度障害・医療ニーズの高い認知症高齢者、看取り支援
  - ・ 重度介護が必要な方や看取り介護が必要な方の積極的受け入れ。
  - ・ 経管栄養、痰の吸引、在宅酸素、褥瘡処置
  - ・ 看取り支援（医療と多職種連携、食事摂取方法の検討、家族支援）
  - ・ 食形態（特食）食事摂取方法の検討（栄養部と連携）
  - ・ 在宅医療、介護サービスとの多職種連携（多職種連携研修参加）
- ⑤ 広報・PR活動
  - ・ ホームページ【さくらんぼルーム】更新
  - \* ケアの見える化（ホームページ・センター内掲示）
    - 「フロア紹介ファイル」「生活リハビリファイル」「医療・看護ケアファイル」
    - 「清潔・整容ファイル」

## 2) 安全と安心の提供

### (1) 食の自立支援事業（配食、活動会食会、いっぶくカフェ、食の自立第三者委員会など）

#### ① 配食サービス

- ・ 配達日：日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）を除く平日
- ・ 利用日：月水金または火木土の週3回以内
- ・ 対象：下記ア、イの要件を満たし且つ包括支援センターの調査訪問結果で市の承認を得た方
  - ア：介護保険サービスを利用している方
  - イ：「ひとりぐらし」もしくは「高齢者世帯」、「その他の世帯」で食材の調達・調理が困難で、定期的な見守り支援が必要な方
- ・ 利用数：定員は80食/日。実績は平均83食/日。

\* 3食\*294日=882食は施設負担で実施。食の自立支援事業のニーズの多い実態は市とも共有し、事業対象者ならびに受託事業費の適正化に向けた確認や交渉は毎年実施している。しかし、いまのところ適正化のための増額には至っていない。

#### ② 活動会食会・いっぶくカフェ

- ・ 開催頻度：各月1回
  - ・ 内容：外出機会をつくり、閉じこもり防止のきっかけづくりを行う
  - ・ 対象：食の自立支援事業配食サービスご利用者様から選出
- 【いっぶくカフェ】
- ・ 実施時間：14時～15時

- ・参加人数：5名～6名

#### 【活動会食会】

- ・実施時間：11時～14時
- ・参加人数：4名～5名
- ・活動場所：殿ヶ谷戸庭園、農工大繊維博物館、平櫛田中彫刻美術館、調布飛行場、体験  
デイサービスなど

### ③食の自立第三者委員会

- ・目的：食の自立支援事業（配食、いっぷくカフェ、活動会食会など）が、事業の目的にあって提供し機能するよう社会福祉法人聖ヨハネ会では第三者委員会を独自で設置した。
- ・メンバー：第三者委員（配食ボランティア、いっぷくカフェボランティア、地域の代表）、オブザーバー（小金井市介護福祉課）、栄養部（課長、係長、食の自立支援事業コーディネーター）、センター長
- ・開催頻度：年2回（11月、2月開催）
- ・内容：食の自立支援事業の実施状況報告、サービス業務の改善取組み、苦情対応報告、配食試食会などを通して、本事業の健全な運営に必要な意見交換を行い事業運営に役立っている。

※2019年度の食の自立第三者委員会第1回では「認知症の疑いがあるサービス未利用への支援」について事例を紹介した。今後は居宅介護支援事業所の連絡会等で配食サービスの適正な活用をしてもらうために、研修機会や説明する機会をつくる方針となった。第2回では「配食利用料過誤請求についてお詫びと再発防止について」報告した。改善案として請求業務のマニュアルを見直し、再発防止を徹底した。

### ④食の自立臨時担当者会

- ・内容：4～6日型配食の2020年度実施に向けた意見交換会食の自立支援事業の利用希望者の中で4日/週以上必要とされる対象者をアセスメントし、桜町センターが来年度から毎日型の配食事業を受託する運びとした。
- ・開催頻度：適時（2019年度は4月、7月、9月、2月の計4回開催）

## (2) 自衛消防隊活動

### ①自衛消防訓練の実施・報告

- ・内容：避難訓練（年6回）、通報訓練、web171訓練（年4回）消火訓練（年2回）  
毎回計画書と報告書を消防署に提出している。
- ・参加者：デイサービス職員、栄養部職員

※今年度、担架での移動訓練や車椅子や寝たきりの方の移動手段として非常用階段避難車のデモンストレーションを実施。引き続き継続してデモを行い良い物を探す。

### ②高齢部門防災員会（毎月第2火曜日 18時～18時半）

- ・各施設防災訓練報告
- ・三施設合同防災訓練計画・実施
- ・災害時用物品の検証（簡易トイレ）

### ③普通救命講習受講・防災用具のデモンストレーション

- ・普通救命講習受講（配食1名）
- ・非常用階段避難車「キャリダン」車椅子用階段避難車「チェアキャリダン」デモンストレーション（10月）

### ④小金井市「火災業務協力者等に対する表彰」功労者表彰（本町センター長）

- ・令和元年11月13日（水）於：小金井宮地楽器ホール

### ⑤救急医療災害支援情報キット申請窓口の継続

### (3) 建物設備

※チェアインバス（酒井医療 Lilac）入替（小金井市予算による）

- ・3階トイレフラッシュバルブ交換（4月）
- ・事務所カウンター天板修繕（4月）
- ・玄関前側溝修繕（4月 小金井市建築営繕課）
- ・配食車（9627）修理（4月）
- ・PC購入（HP エリートデスク 800G4）（5月）
- ・スライディングボード購入（6月）
- ・3階飾り棚天板修繕（6月）
- ・3階 EV 前、食堂照明器具の LED 化工事（8月）
- ・チェアインバス撤去廃棄
- ・介護ソフト AK「希望」サーバー交換
- ・カーボンウォーカー（中古）
- ・トイレウォシュレット（2階1か所交換、2階奥・厨房2か所新設）
- ・厨房用ハンドル水栓交換
- ・炊飯器基板交換
- ・ノート型 PC（東芝ダイナブック B65DN/10Pro64/i3）（3月）
- ・17インチ液晶ディスプレイ（3月）
- ・水道メーター交換（11月）
- ・介護用車椅子配備（市備品 1月）
- ・玄関インターホン設置（3月）

### (4) 医療と介護の連携

- ・栄養部と大井医師（桜町病院）が食事と嚥下の関係について自主勉強会を開催。そこに、当センターの嚥下困難事例を提出してきた。事例は評価とフォローアップを受けた。

### (5) 感染症予防取組み

- ・2020（R2）年1/16に日本で初めて COVID-19 罹患患者が発生したが、国内感染者は5/50 現在1万5千人を超え、死者数は550人以上に及ぶ勢いで増えている。
- ・当センターでは、2017年度にヒトメタニューモウイルスの猛威を経験し、多摩府中保健所からの助言を得て以来、職員の健康管理を健康チェック表で毎日行い、職員から利用者へのウイルス蔓延を未然に防いできた。
- ・しかし COVID-19 の感染力や毒性はヒトメタ以上で、感染症予防には「持ち込まない」「持ち込ませない」ことが最も重要と考えられた。
- ・そこで、2/26より職員は出勤前検温。ご利用者様は送迎前検温を開始した。
- ・一方、部門の感染症対策委員会では、COVID-19 の取り上げがないまま過ぎていた。そこで、開催を要請し4/3に取り上げる運びとなった。その後、4/13に第2回の臨時委員会の開催を決め、新型コロナウイルスに関する職員の勤務や休職取扱いのルール案を作成し、4/15の経営会議で決定した。

#### ①感染症対策委員会、安全衛生委員会の活動

- ・感染症研修開催・参加
- ・感染症シュミレーション研修開催・参加（自施設研修）
- ・手洗いチェッカーによる手洗いチェック実施
- ・ノロキット配備（車輦・建物）
- ・次亜塩素消毒薬による建物設備消毒実施
- ・ノロキット用塩素消毒薬の毎日交換実施
- ・メディカルマスクの購入配布（職員ならびに必要時は利用者にも配布）

- ・インフルエンザ予防接種・検便検査実施
- \* COVID-19 への高齢福祉部門 3 施設の対応検討・方針決定・経営会議への提案

## ②感染症予防環境対策

- ・害虫防除作業委託（7月・2月）
- ・加湿器の設置、定期清掃
- ・朝礼時の注意喚起（健康チェック、マスクエチケット、手洗い、手指消毒、うがい）
- ・入館ルールの徹底（手指消毒薬の配備と案内掲示）
- \* 空気清浄機の購入（3/2）
- \* 入館カードの記入開始（2/22～）
- \* 送迎検温表の作成実施（2/28～）
- \* 地下ピット漏水修繕（3/19）

## ③感染症対策研修への参加

### （6）事故災害対策

#### ①労災事故

- ・平成 31（令和元年）年度は、労働災害の発生はなかった。

#### ②介護事故

- ・特になかった。

#### ③ヒヤリハット

- ・ヒヤリハットは、年間 28 件（昨年度 27 件）であった。
- ・最も多いヒヤリは送迎・移動関係で 13 件（46.4%）。転倒や送迎漏れが目立った。
- ・理由として、小型車両による単便送迎が増えたことが挙げられるが、介護のヒヤリハットの内容と照らし合わせてみると、「安全確認」、「危険予知」、「情報共有」、「コミュニケーション不足」の 4 つが原因となるものが殆どで、ここに課題があることが分かる。
- ・しかし、以前よりヒヤリハットの件数が抑制もしくは横ばい状態にある実態からすると、KYT や OJT の徹底を促してきた成果が習得されつつあるのかもしれない。引き続き人材育成の課題として認識してゆきたい。

#### ④車輻事故

- ・対人対物ともになかった。

#### ⑤苦情

- ・配食サービス過誤請求（T・M ケース）（2019 年 5 月～11 月）  
⇒謝罪・返金し了承を得る。

#### ⑥救急救命講習受講

- ・普通救命講習への参加（配食 1 名）

#### ⑦送迎車輻事故予防環境の整備

- ・福祉車輻（助手席リフトアップシート）購入入替（12 月）

#### ⑧介護事故予防

- ・OJT で KYT を実施（介護・運転）

#### ⑨危機管理規定・内部通報規程の策定（法人・部門）

### 3) 地域との共生

#### （1）認知症に強い街づくりへの取組み

##### ①みんなの安心ささえ愛ネットワーク

- ・定例会：毎月第 3 月曜日 14 時 30 分～16 時
- ・コミュニティーの輪づくり懇親会開催（8 月）
- ・桜町聖ヨハネ祭「ヨハネでかくれんぼ」実施（10 月）→\*台風 19 号のため中止
- \* 西東京市高齢者支援課によるコミュニティー農園視察（6 月）
- \* J:Com「長々と散歩」に出演・収録協力・放映（2019/8/16～8/31）

\*大久保園援農活動の充実（苗植え、水遣り、草取り、追肥、収穫、調理、試食）

\*大久保園を通じて保育園、幼稚園との交流開始

## ②コミュニティ形成推進意見交換会

- ・「セミナー農園（仮称）」立ち上げのための定例会議へ参加

## ③認知症を支える介護者の集い

- ・開催日：毎月第一土曜日 13時30分～15時
- ・内容：認知症を支える在宅介護の経験を分かち合い、学び、気づきを得て、家族介護や自分自身と地域の今後に活かしていただく。
- ・対象：当センターにおける家族会は、家族介護者に限定せず、地域で認知症の方の在宅介護の支えとなっている方、支えになりたいと考えている方、認知症サポートに興味関心のある方が自由に参加できるよう門戸を開いている。
- ・参加者：5名前後
- ・講習会：年3回開催（平均参加者数10名～15名）
  - 第1回テーマ「認知症になっても」
  - 第2回テーマ「認知症高齢者にやさしい町づくりを目指して」講師 桜町病院認知症疾患医療センター職員
  - 第3回テーマ「認知症ケア」

※情報共有や課題把握のため市内事業者による連絡会を定期的に開催している。今年度は、広報活動を活発に行い認知症高齢者を抱える家族の輪を広げる取り組みを行った。

## ④認知症デイサービス運営推進会議

- ・開催日：第7回 2019年9月9日（月）  
第8回 2020年3月16日（月）⇒新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（2/25付 小金井市福祉保健部介護保険係確認）
- ・内容：認知症対応型通所介護サービスの事業や当会ならびに部門が提供する諸サービスについて知っていただき、よりよい事業運営、サービス提供を目的としご利用者様、ご家族様、地域の皆様方からのご意見をいただく。
- ・参加者：センターご利用者ご家族、ボランティア代表、けやき通り商店会代表、きた地域包括支援センター、本町センター認知症デイ管理者、担当職員。

## ⑤武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 4年生卒論指導・卒論調査協力（9月）

## ⑥小金井市友愛活動事業研修会への協力

「小金井市食の自立支援事業と小金井市立本町高齢者在宅サービスセンターの機能について」（5月16日）講師：本町センター長

## （2）こがねい介護教室（家族介護者教室）

- ・日時：11月16日（土）13時30分～15時30分
- ・テーマ：「アロマでリフレッシュ」
- ・講師：寺井 小百合氏（アロマセラピスト）
- ・参加者：15名

※今年度より家族介護者教室を受託する4事業所では「こがねい介護教室」とネーミングを変え、どなたでも気軽に参加できるように考えている。

## （3）施設開放

- ・本町2丁目町会活動場所の提供  
趣味、コーラス、体操、雑学グループ活動
- ・防災協定にもとづく防災倉庫の設置継続・火の用心開始拠点

\*「防災街歩きで発見」施設開放

## 【施設整備状況】

### (1) 概況説明

1998（H10）年10月開設から21年が経過。開設当初からの設備備品は部品供給が終了しているため修理不能で入替が必要な状況にある。現在、特に危機的状況にある設備備品は、①1・2階系統冷暖房空調設備（GHP）②屋上防水シート③エレベーター④外壁の4か所である。  
※福祉車両と特殊入浴機器は今年度をもって入替を完了した。

建物設備に関しては、引き続き小金井市に状況を報告を適宜行い、今後に備えた対応をすすめる。

当センターは市の福祉二次避難所である。被災時に建物設備の不具合が多いと市民に大きな不安を与えかねないため、日頃から市と連携しながら建物設備の更新は計画的にすすめてゆく。

### (2) 主な固定資産 2,648,780円（入替購入）

● 令和元年 11月	福祉車両（エスクエア）（H28年式）	2,410,680円
● 令和元年 5月	PC購入	238,100円

### (3) 主な修繕・設備入替

<b>①本町C対応</b>		<b>754,700円</b>
● 平成31年4月	3Fトイレフラッシュバルブ交換	44,280円
● 平成31年4月	配食車両（9627）修理	130,561円
● 令和元年7月	照明器具電源直結等の電気工事	108,000円
● 令和元年8月	機械浴槽撤去	118,800円
● 令和元年9月	ウォッシュレット取付（2か所）	135,000円
● 令和元年9月	厨房水道蛇口交換	70,000円
● 令和元年9月	炊飯器基板交換	44,000円
● 令和元年10月	残留塩素チェッカー	8,150円
● 令和元年12月	車椅子ブレーキ交換	5,610円
● 令和元年12月	手首血圧計（4台）	16,000円
● 令和元年12月	パルスオキシメーター（1台）	4,980円
● 令和2年2月	コンビオープン修繕	24,519円
● 令和2年3月	空気清浄機購入	44,800円
<b>②小金井市対応</b>		<b>6,250,861円</b>
● 令和元年5月	GHPエアコン修繕（1・2階系統）	690,669円
● 令和元年8月	チェアインバス購入入替	4,482,000円
● 令和元年11月	水道メーター交換	0円
● 令和2年2月	GHPエアコン修繕	72,237円
● 令和2年2月	厨房漏水点検	280,500円
● 令和2年3月	厨房漏水修繕	725,455円



【事業状況】(利用実績集計表・利用率の推移)

事業別		2019(R1)年度 利用実績集計表												2019年4月～2020年3月	本町高齢者在宅サービスセンター	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
介護	通所介護・一般	日数	26	24	25	27	27	25	27	26	24	24	25	26	306	
	23名/日 定員	新規	598	552	575	621	621	575	621	598	552	552	575	598	7,038	
		介護給付	3	3	4	2	0	4	3	4	2	1	1	4	31	
		(23人想定)	3	4	1	4	3	1	0	2	3	3	1	2	27	
		登録数	69	69	71	69	66	67	68	74	71	69	66	69	-	
		実利用者数	67	66	67	66	63	67	68	69	70	69	66	65	-	
		延利用者数	567	502	539	580	569	554	575	590	572	529	563	571	6,711	
		人数/日当	21.8	20.9	21.6	21.5	21.1	22.2	21.3	22.7	23.8	22.0	22.5	22.0	22	
		利用率	94.8%	90.9%	93.7%	93.4%	91.6%	96.3%	92.6%	98.7%	103.6%	95.8%	97.9%	95.5%	95.4%	
		予防給付	(2名想定)	新規	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
			終結	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3
	登録数		6	6	6	5	5	6	6	5	5	5	5	5	-	
	実利用者数		5	6	6	5	5	6	6	5	5	5	5	5	-	
	小計	延利用者数	32	33	37	21	35	36	35	32	32	29	30	34	386	
		人数/日当	1.2	1.4	1.5	0.8	1.3	1.4	1.3	1.2	1.3	1.2	1.2	1.5	1.3	
	利用率	61.5%	68.8%	74.0%	38.9%	64.8%	72.0%	64.8%	61.5%	66.7%	60.4%	60.0%	73.9%	63.1%		
	延利用者数	599	535	576	601	604	590	610	622	604	558	593	605	7,097		
	利用率	92.2%	89.2%	92.2%	89.0%	89.5%	94.4%	90.4%	95.7%	100.7%	93.0%	94.9%	93.1%	92.8%		
事業	通所介護・認知症	日数	26	24	25	27	27	25	27	26	24	24	25	26	306	
	12名/日 定員	新規	312	288	300	324	324	300	324	312	288	288	300	312	3,672	
		新規	0	2	4	2	2	1	2	0	0	1	1	1	15	
		終結	0	2	0	4	2	0	2	2	0	2	2	2	16	
		登録数	32	32	34	35	35	36	36	34	30	29	30	24	-	
		実利用者数	29	32	34	35	35	35	36	33	30	29	30	24	-	
		延利用者数	228	235	264	291	291	254	285	285	267	255	244	247	3,146	
		人数/日当	8.8	9.8	10.6	10.8	10.8	10.2	10.6	11.0	11.1	10.6	9.8	9.5	10.3	
		利用率	73.1%	81.6%	88.0%	89.8%	89.8%	84.7%	88.0%	91.3%	92.7%	88.5%	81.3%	79.2%	85.7%	
		通所介護合計	実利用者数	101	104	107	106	103	108	110	107	105	103	101	94	-
			延利用者数	827	770	840	892	895	844	895	907	871	813	837	852	10,243
		※通所介護全体利用率	86.0%	86.7%	90.8%	89.3%	89.6%	91.2%	89.6%	94.3%	98.1%	91.6%	90.5%	88.6%	90.5%	
	家族介護者教室	回数													0	
		利用者数													0	
	認知症高齢者家族交流	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11	
利用者数		2	3	2	2	2	2	4	10	4	5	11	0	47		
食の自立支援事業	食の自立支援事業	日数	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	23	25	294	
	80人/日 定員	①②③⑤ 延食数	2000	1920	2000	2080	2080	1840	2080	1920	1920	1840	1840	2000	23,520	
		利用率	2064	1959	2071	2150	2068	1912	2089	2015	2041	1929	1965	2157	24,420	
		利用率	103.2%	102.0%	103.6%	103.4%	99.4%	103.9%	100.4%	104.9%	106.3%	104.8%	106.8%	107.9%	103.9%	
	①配食サービス	登録数	211	210	204	207	208	207	207	206	208	212	213	214	-	
		実利用者数	185	186	187	191	185	192	186	190	190	188	188	190	-	
		延食数	2059	1955	2066	2146	2063	1908	2084	2007	2031	1924	1959	2157	24,359	
		食/日当	82.4	81.5	82.6	82.5	79.3	83.0	80.2	83.6	84.6	83.7	85.2	86.3	82.9	
		利用率	103.0%	101.8%	103.3%	103.2%	99.2%	103.7%	100.2%	104.5%	105.8%	104.6%	106.5%	107.9%	103.6%	
	②緊急配食	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	
		延食数	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	0	8	
	③活動会食サービス	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11	
		延利用者数	5	4	5	4	5	4	5	5	5	5	6	0	53	
	④いっぷくカフェ	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10	
		(閉じこもり防止) 延利用者数	5	5	5	6	5	5	5	5	4	5	0	0	50	
⑤栄養マネジメント	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	(自立推進クラブ) 延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑥調査・ケアプラン	新規・継続	6	10	10	6	8	6	5	7	5	5	7	4	79		
独自事業	高齢者見守りサービス	実利用者数	3	0	0	3	3	2	2	4	3	1	2	0	23	
	パーティタイム(自費)	延利用者数	3	0	0	6	3	4	6	7	4	1	4	0	38	
	地域社会支援①	回数	8	6	8	6	0	7	6	8	5	3	5	0	62	
	元気で本町2丁目会等	延人数	48	34	46	40	0	41	31	49	38	14	33	0	374	
	日常生活支援	実人数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	(各種相談対応等)	実人数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
ボランティア活動	実人数	34	31	31	32	31	36	30	35	33	29	28	18	-		
	延人数	110	74	82	81	79	125	65	93	97	72	52	40	970		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		

## 【教育研修一覧】

## 2019年度 本町高齢者在宅サービスセンター 研修計画・実施一覧表

2020/3/31

日程	分類	研修内容	場所	氏名
2019/4/1	ヨハネ会新任研修	高齢者の権利擁護について学ぶ	戸塚ホール	講師 山極愛郎
2019/4/13	介護技術	ケア勉強会:持ち上げない介護(郷原・瀧)	本町センター	川村 八千代他5名
2019/5/7	新任研修(理念)	看護職員入職研修	本町センター	瀧村 美帆
2019/5/10	新任研修(理念)	きた包括支援センター入職研修	本町センター	中村 圭佑
2019/5/10	介護予防	腰痛予防対策講座	桜町センター	川村 八千代他5名
2019/5/15	相談援助	事例勉強会～S・T様の事例を通じて～(西村)	本町センター	山極 愛郎他7名
2019/6/7	感染症	標準予防策研修～手指衛生について～	桜町センター	西村 貴子
2019/6/7	感染症	標準予防策研修～手指衛生について～	桜町センター	川村 八千代他2名
2019/6/12	介護予防	腰痛予防対策講座伝達研修(高野)	本町センター	川村 八千代他7名
2019/6/17.18	基本理念	カトリック老施協関東ブロック研修会	中野区	山極 愛郎他4名
2019/7/10	相談援助	事例勉強会～S・S様の事例を通じて(宮川)	本町センター	山極 愛郎他9名
2019/8/5	介護技術	入浴介助～入浴介助方法、新入浴機器の理解	本町センター	川村 八千代他7名
2019/8/9	感染症	標準予防策研修～個人防護具について	桜町センター	西村 貴子他2名
2019/8/23	権利擁護	高齢者虐待防止研修	小平市	市村 直子
2019/9/6	感染症	標準予防策研修～利用者に多い感染症	桜町センター	西村 貴子他2名
2019/9/11	ハラスメント	法人合同研修「介護現場でのハラスメント」	戸塚ホール	川村 八千代他1名
2019/9/18	相談援助	事例勉強会～A・A様の事例を通じて(益井)	本町センター	山極 愛郎他7名
2019/9/24	人材研修	デイサービスにおけるOJTを学ぶ	新宿区	市村 直子
2019/10/2	その他	東京都地域公益活動推進協議会「実践発表会」	新宿区	山極 愛郎
2019/10/2	スキルアップ	介護職員スキルアップ研修「医療ニーズを見逃さないケアを学ぶ」	三鷹市	宮川 夏子他1名
2019/10/3	メンタルヘルス	法人合同研修「福祉施設職員のストレスケア」	戸塚ホール	川村 八千代
2019/10/10	新任研修(理念)	きた包括支援センター入職研修	本町センター	佐伯 良子
2019/10/15	その他	東京都地域公益活動推進協議会「実践発表会」	新宿区	山極 愛郎
2019/10/15	認知症	高齢者のせん妄～治療から予防へ～	戸塚ホール	長島 麻綾他1名
2019/10/22	スキルアップ	介護職員スキルアップ研修伝達研修(宮川)	本町センター	川村 八千代他7名
2019/11/15	救命救急	普通救命講習	小金井消防署	古瀬 光彰
2019/11/20	相談援助	事例勉強会～H・K様の事例を通じて(長島)	本町センター	山極 愛郎他9名
2019/12/11	感染症	感染症シュミレーション(送迎)研修(西村)	本町センター	川村 八千代他5名
2020/1/15	相談援助	事例勉強会～K・T様の支援を通じて(齋藤)	本町センター	山極 愛郎他9名
2020/1/31	他職種連携	法人合同研修～職場紹介(訪問入浴)	戸塚ホール	川村 八千代他2名
2020/2/19	介護技術	ケア勉強会:排泄ケア(市村・益井)	本町センター	川村 八千代他5名
2020/3/17	相談援助	事例勉強会～M・A様の支援を通じて(郷原)	本町センター	山極 愛郎他9名

### 3. 医療部門

#### I 桜町病院（生計困難者の為に無料・低額な料金で診療を行う事業）

##### I 事業概況

2019年度も健全経営に向けた取り組みを運営方針の第一番に掲げ、そのための数値計画を立てて運営してきたが、2019年初冬からの患者低迷状態が続いている状況のまま新年度をスタートし、夏から秋口になっても回復の兆しが見られないままに入院、外来患者数ともに少ない状況が続くという異例の年度となった。とりわけ当院の経営に大きな比重を占めている整形外科、産婦人科の落ち込みが大きく、4月と7月に一時的に入院患者数が上がったのを除き低迷状態が続いた。さらに、そのような状況の中で内科は9月末、内科医師1名の退職などがあり、内科の午後の初診受付を無くしたこと、月曜日の健診業務を止めたことなど、内科診療やドック・健診業務の縮小をせざるを得なくなった。

患者数を増やすために、医局会での患者確保要請を始め、個別に先生方に現状の把握と患者確保のお願いをした。地域の医師会の先生方や近隣の大病院からの紹介患者を増やしていかなければならないので、当院で行っている医療や当院の機能を理解していただくために、当院の先生方には医師会の会合や催しに積極的に参加していただき、顔繋ぎをしていただくようお願いを続けてきた。内科、整形外科については年末から患者増加傾向になり、1月中旬には久しぶりに在院で160人台の日も見られるようになった。

入院患者は回復傾向となり2月には1日平均162.1人という計画患者数を上回る数を計上できたが、何度初めから夏場を除く年末にかけての例年にない患者低迷状況を補完することはできなかった。それに加え、年度末に近づくにつれ、新型コロナウイルス感染症拡大という報道がされる中での受診抑制により、外来患者数は内科系をはじめ極めて少ない状況となり収入が大きく減少した。収入の減額が大きく、手持ち資金がこれまでになく厳しい状況となった。2019年度は大きな欠損となってしまった。

このような状況を背景に、12月にはより多くの職員に差し迫った経営の現状を理解してもらいながら、経営改善策と一緒に検討して進めていくことを目的とし、部長職から係長職を加えたメンバー25名からなる、専ら経営改善策を検討する「経営改善会議」を創設し、改善策を検討しできるものから実践してきた。

今年度は、消費税率アップがらみの年度途中における薬価改定とそれに伴う診療報酬の改定が行われた初めて経験する年でもあった。

##### <2019年度の運営方針>

1. 経営の健全化に注力する
2. 質の高い安全で患者満足度の高い医療の提供を行う
3. 地域の医療機関等との連携の拡充を図る
4. 運営管理機能の充実を図る
5. 職員が仕事にやりがいと魅力を感じられる職場作りに努める

## 1 2019年度の主な状況

### 1 経営状況

2019年度は例年になく患者が少なかったことにより収入が上がらず、経営的には極めて厳しい年度となった。内科の医師の補充ができない中であるが、先生方の努力により年度後半は患者数の回復傾向となり、内科、整形外科は患者が増え、産婦人科は手術実績が上向きとなり一時の低迷状況を抜けたと認識している。ただし、全く予期せぬ新型コロナウイルス感染症の拡大が続いているために、患者の受診抑制により入外患者数の落ち込みが顕著となり、年度前半からの経営の低迷状況をさらに悪化させる大きな減収、減益となった。

### 2 地域の医療機関や福祉施設等との連携の拡充

「地域医療連携」が当院生き残りの鍵になることを改めて確認し、その拡充を重要な柱として運営している。小金井市医師会の先生方はもとより、隣接の国分寺市医師会の先生方との連携促進、武蔵野赤十字病院や当院を取り巻く大規模高機能病院との連携は、患者さんに有効な医療を受療していただく上で極めて有意義なことであるので、これを効果的に実現していくことが経営面において継続的に収入を上げていく重要な事項となると考えている。地域包括ケア病棟を開設したこともあり、従来以上に近隣の医療機関等との紹介・逆紹介が円滑に推移している。地域医療連携室関係の情報交換や様々な機会を使って、更に連携を密にするとともに患者支援の取り組みを進めている。

#### (1) 地域包括ケア病棟の運用

2017年4月に開設した地域包括ケア病棟は、小金井市医師会の先生方からは地域包括ケアシステムの医療における中核を担う病棟として、その運用に期待と高評価をいただいている。当院の特徴である在宅からの入院が順調で、いわゆるサブアキュート患者が6~7割の状況が続いている。また、病棟の診療単価は約33,000円前後で推移している。診療単価が想定どおりアップしており、効率的な運用ができています。在宅復帰率は90%(基準70%)近い値である。地域包括ケア病棟は当地域における地域包括ケアの一環を担う病棟として有効に機能していると認識している。

#### (2) 在宅診療の拡大

在宅診療については、当院が在宅診療支援病院としての立場から、また、地域包括ケア病棟入院料を算定することができる要件を満たし維持していくために、一定の実績を上げることが必要であることから、在宅診療の充実と実績向上に努めてきた。在宅診療の実績が確実に上がっており、6月から地域包括ケア病棟入院料1を算定したことにより2千万円を超える増収となった。

#### (3) 認知症疾患医療センターの運営

認知症疾患センターは指定を受けてから4年目、認知症鑑別診断(156件)、相談業務(総件数5,432件)、地域関連スタッフ育成研修への講師派遣(6件)、地域連携会議開催(4回)、認知症講座開催医療・介護従事者向け研修、スタッフ養成講座への講師派遣など順調

に推移している。認知症疾患医療センター小金井地域の認知症に関するサポート体制の拡充などに寄与する取り組みができています。

### 3 無料低額診療実践

2017年度 6.178%、2018年度 6.201%と6%を少し超える程度の実績であったので、2019年度は当面、東京都の暫定基準7%を目指し生保患者の確保努力をしてきたが、それにもかかわらず入院の生保患者が減少してしまったことにより「対象者」の確保が困難な状況にあり、2019年度の実績は5.574%とその割合を下げている。6%台の達成はかなわなかった。一方、2017年度に無料低額診療基準を満たさなかったことから、そのペナルティーとして固定資産税を支払うこととなり、約600万円の固定資産税を支払った。

### 4 分娩環境充実に向けた取り組み

全国的には分娩数が減少している中で、分娩数を増やしていくことはかなり難しいが、分娩にかかわる環境整備をすることにより、1人でも多くの方に当院を利用していただくよう努めている。幸い当院の分娩は高い評価を得ている。割合の少ない経産婦分娩の割合を増やすために、これまで面会規制の緩和や分娩環境の整備を行ってきた。また、分娩に伴い体調の変化や心の痛みなどについて助産師が相談にのる機会として、週1回の助産師相談を開設し利用してもらっている。

妊娠から分娩、分娩後の様々な出来事への支援を目的に、これまで実施してきた「母親学級」や「まなざし」に加え、助産師外来の実施、また、産後の母親の心身状態の良好な維持を目的に「産褥入院」の実施について、行政とも協議を重ねてきた。ここにきて、行政もこの事業を支援することが決まったので、次年度秋を目途に導入を予定して準備を進めている。

### 5 職員採用と育成・配置

職員数については、退職者が出た場合や新たな業務を行うこととした場合、また、その他業務執行の状況を勘案して、補充をするなどの弾力的な職員数管理を行っている。しかしながら、職種によっては厳しい職員採用環境となっており、長期間補充ができない職種が出てしまった。

#### (1) 採用

採用補充が困難な職種としては、薬剤師、手術室看護師、看護助手、作業療法士などであり、ハローワークはもとより、人材紹介サイトの活用、また、職種によっては学校訪問を行うなど補充に向け募集採用の努力を続けた。内科医師、手術室看護師、看護助手などについては依然採用が困難な状況が続いている。

#### (2) 職員の配置

看護師は不十分ながら随時補充できているが、長い間、採用できなかった薬剤師は8月に1名採用、栄養士は9月に1名採用し配置できた。非常勤での採用配置や事務補助者を配置するなどの補完体制を取った職種もある。

#### (3) 計画的人材育成と教育研修支援

今年度も4月の教育研修委員会において、病院として行わなければならないと考える研修については、月別の年度計画を策定し実施してきた。研修会により参加者数に多少はあるが、全体的に研修会の参加者は少ない状態である。研修に参加できない者に対するフォローが引

き続きの課題として残っている。研修会の持ち方や内容などについて引き続き検討していく。  
また外部研修受講のために各部署に予算付けして研修機会の有効な活用を促している。

#### 6 労働基準法改正による年次有給休暇付与義務化への対応

労働基準法が改正され有給休暇が10日以上付与される職員に、5日付与することが義務付けられたことを踏まえ、それを確実に履行していく準備を行い、就業規則を変更し、従業員組合と協定を締結して有給休暇を付与することとした。

9月中に有給休暇5日未満の取得者に、10月以降の取得日を特定する作業を終え、10月から確実な取得管理を行ってきた。最終的には年度末ぎりぎり取得した者もあったが、100%達成することができた。

#### 7 電子カルテシステムのハード更新

電子カルテシステムは、予定の更新時期を1年遅らせてハードの更新を計画し、更新に向け内容を精査し、2月末から更新作業に取り掛かり、3月中旬に作業を終えた。

#### 8 病院本館大部屋エアコン入替

エアコンは設置から10年を超え頻繁に故障する状況となったことから、今年度か2年計画で抜本的更新工事を行うこととし、北棟の大部屋の各部屋に単独エアコンを設置する工法で更新工事を行った。特段の問題もなく、幸い暖かかった11月に工事を終了することができた。1700万円。

なお、ホスピス病棟南ウイング6病室の空調設備の更新も終えた。202万円。

#### 9 病児保育室の開設、さくらまち保育所の定員

病児・病後児保育事業は、小金井市内等の保育施設等に通所しており、病期中又は病気の回復期にあり集団保育が困難なお子さんを、一時的にお預かりして保育を行うというものである。

聖ヨハネ会が小金井市からの実施要請を受けいれ、桜町病院が実施することとし、11月21日に病児・病後児保育室（さくらんぼ保育室）を開設した。利用実績は延べ23人となりおり大きな問題もなく運用できた。

なお、さくらまち保育所は、利用者が減っており年間を通じても10人未満の利用となっていること、さくらんぼ保育室の整備により保育所の面積が削減されたこともあり、これまでの定員19人を11人に減らした。

## II 機器整備、施設設備改修

2019年度は、超音波診断装置400万円、マルチカラーレーザー834万円などの医療機器等の他、直流電源装置378万円、複合機2台168万円などの機器等を整備した。また、病院北棟エアコン更新1700万円、ホスピス病棟南ウイングエアコン更新202万円などを行った。

(別紙)

## III 数値計画の達成状況

### 1 収入関係

#### (1) 患者数の状況

入院 2019年度は患者数の少ない状況からのスタートとなった。4月149.2人、5月147.0

人、6月146.3人と計画を大きく下回る状況が続き、7月から8月は150台となったもの、9月以降年末まで少ない状況となった。特に、11月は近年経験したことのない130台の結果となった。1月からは回復基調となり特に2月は160台となった。しかしながら、回復する時期が遅かったことにより年度累計は148.5人と近年で初めて140台で終えてしまった。

外来 年間を通じて、月々の増減の大きい年度となった。月々の計画を上回ることにはなかったが、5月、7月、11月、12月は患者の多い月となった。特に年末にかけての2ヶ月は計画には届いていないが400人台の患者数となった。新型コロナウイルスによる受診抑制は2月頃からみられ、3月の患者数は200人台で終わった。年度累計の患者数は計画を22.9人/月下回った。

## (2) 手術実績

当院の手術は構造的に、また体制的にも限られた状況の中で行うこととなるが、当院の安定経営を目指すうえでは極めて重要な分野であると考えている。今年度は患者数の減少という異例の年度となったことにより、手術件数が前年度比で減少となったが、ここ数年の手術件数の動きをみると手術件数は確実に増加している。

2019年度は計画手術件数を、月当たり89件以上と計画した。実績は月79.6件となり、計画に対し9.4件達しなかった。今年度は年度当初から患者が少ない状況が続き、特に整形外科の関節関係の患者が少なかった。また産婦人科も夏場に一時期患者の多い時期があったが、患者の少ない状況が続いた。このために手術件数にも大きな影響があり手術件数が少なく推移した。11月から年度末にかけて患者が増加するのに伴い手術件数も増加し、年度平均を上回る月が多くなった。最終実績としては整形外科が2018年度比月▲1.2件、産婦人科が▲3.2件であった。総件数955件。新型コロナウイルス感染症による影響という懸念材料はあるが、次年度は件数増を目指していく。

## (3) 分娩件数増加に向けた取り組み

2019年度の分娩は360件となり昨年度を55件下回った。少子化が進む中で、また今年度は「改元」が行われたこともあり、4月の分娩件数が17件と、ここ10年間で最も少ない月となった。7月には過去10年間の最高となる44件という月もあったが、2月には再度17件という最低の月もあり、全体の件数は昨年度を上回ることではできなかった。

この間、これまで取り組んできた母親学級やまなざしによる支援に加え、助産師相談の開設、経産婦のリピート割の実施、無痛分娩の広報を行うなど、妊娠中から分娩後までの支援を充実させてきた。さらに、産後うつ等で支援を必要とする方のうち、支援希望者の機会として「産褥入院」を構想し、行政との協議を続け来秋には実施していけるよう準備を重ねてきた。

## (4) 診療単価

入院 診療単価は年度初めの患者数のない時期や秋の時期等の単価の落ちた時期はあるが、全体的に単価は上昇傾向の中で推移した。昨年度比+269円。

外来 単価の高い診療科の患者数の変動により増減はあったが、全体的に単価は上がった。計画比+143円、前年度比+135円。

## 2 支出関係

### (1) 電力供給会社の変更

電力の自由化により電力会社が顧客獲得に動く中、今年も電気料金を削減できるとい

う提案を受け、10月からKDDIグループの「エナリス」から東京電力に電力供給会社を変更した。平年度ベースで240万円の電力料金削減を図る仕組みでの運用となった。

#### (2) ジェネリック医薬品の採用拡大

薬価が毎年見直しが行われることとなり、その都度市場価格の低下に伴い多くの品目の値下げが行われている。このためにジェネリック医薬品の価格も大きく下がっており、薬価交渉におけるジェネリック医薬品の魅力は半減した。ただし、薬価が安いという点ではジェネリック医薬品は医薬品費を抑えるうえで有効である。特に、当院はホスピス病棟や地域包括ケア病棟等の定額算定の病棟112床を保持していることから、薬剤購入費用を抑える意味合いからジェネリック医薬品の採用を進めている。特に先発品メーカーのそれを優先的に採用しつつある。今年度は新たに8品目を導入した。

#### (3) 診材等のコスト削減

昨年度、ベンチマーク手法を試みた結果、当院では大半の診材等についてはかなり安価に診材等の購入ができていたことを確認することができた。現在も診材等のコスト削減手法として、市場調査、見積もり合わせ等を実施することにより良質なものを安価に購入していく努力を続けている。当院では耐用年数に囚われず、安全を確認しながらできるだけ長く使用してもらうようにしていることもあり、経年劣化による故障により修理不能のもの更新、ディスプレイ製品の導入等により、予算をオーバーすることもある。ムダになるもの、過剰となるものは購入しないよう管理している。

### 3 収支状況

2019年度は入院の7月、8月と年明けに若干患者が増加することはあったが年内は総じて患者の少ない状況が続き、年明けに回復の兆しが見られたものの、特に年度の入院患者数は例年とはかけ離れて少ない結果となった。このために収入が上がりず平時の資金繰りにも影響が出る状況となった。患者の減少が内科、整形外科、産婦人科という当院の収入構造の上で大きな比重を占める診療科であったことから、大きな収入減となり経営の不安定化を招いてしまった。患者減の理由は明確なこともあるが、外部要因からと思われることもあり、改善の困難さを認識している。

#### (1) 事業活動収入

計画 3,499,272,102 千円→実績 3,299,160 千円 (▲200,112 千円) 昨年度比▲115,377 千円

・入院診療収入 2,192,461 千円→2,088,975 千円 (▲103,486 千円)

入院診療単価は、計画を269円上回ったが患者数の減少13.5人/日をカバーできず、入院収益は予算比で103,486千円の計画減となった。

・外来診療収入 733,248 千円→698,782 千円 (▲34,466 千円)

外来は、診療単価は計画を若干上回ったが、患者数の減が大きく収入は計画に届かなかった。

#### (2) 事業活動支出

計画 3,345,704 千円→実績 3,289,048 千円 (▲56,656 千円) 昨年度比+46,601 千円

支出については給与費や業務委託費などの減額により計画比で▲56,656千円となった。

#### (3) 事業活動収支差額

計画 153,568 千円→実績 10,111 千円 (▲143,457 千円) 昨年度▲161,978 千円



#### IV さくらまち保育所

さくらまち保育所は、常勤保育士 2 名、その他の勤務契約の保育士 3.3 名（常勤換算）の体制で 1 日平均保育児数 1.07 人の保育を行った。保育所を利用した児童実数は 26 人で、平日保育の他、24 時間保育 17 回、休日保育 31 回を行った。

#### V 桜町児童ショートステイ

桜町児童ショートステイは、常勤保育士 6 名、非常勤保育士 1 名、アルバイト学生 5 名の体制で障害児の短期入所 370 人及び日中一時支援 142 人の支援を行った。

2015 年度より学区域の市にあたる小金井市、武蔵野市、小平市、西東京市による 4 市連携での支援は今年度も継続され、安全な通学支援をはじめとした体制作りについて保護者を含めた関係者で話し合いを行った。

#### VI 病児・病後児保育室（さくらんぼ保育室）

さくらんぼ保育室は、聖ヨハネ会が小金井市からの実施要請を受け入れ、桜町病院が実施することとし、11 月 21 日に病児・病後児保育室（さくらんぼ保育室）として開設した。担当職員は、さくらまち保育所との兼務の保育士、外来看護師、小児科医師が携わっている。

利用実績は延べ 23 人となっている。

**【2019 年度活動状況報告】**

種別	許可病床数	患者数/日	延患者数	利用率 2019 年度)	利用率 (2018 年度)	利用率 (201 年度)
入院	199 床	148.5 人	54,365 人	74.6%	77.7%	78.7%
外来	—	367.3 人	106,508 人	—	—	—

平均在院日数	21.8 日 一般のみ 15.5 日 ホスピス 39.8 日 療養 360.0 日
新入院患者数	2,483 人 (前年度 2,644 人)
退院患者数	2,496 人 (前年度 2,654 人)
時間外患者数	716 人 (前年度 499 人)
紹介率・逆紹介率	紹介 15.1% 逆紹介 16.3%
手術件数	955 件 (前年度 997 件)
全麻件数	462 件 (前年度 423 件)
分娩件数	360 件 (前年度 415 件)
人間ドック件数	入院 0 件 (前年度 6 件) 外来 688 件 (前年度 679 件)

**【無料低額診療】** 上段：2019 年度 下段：2018 年度

**1. 受診人数**

新規実人数	継続実人数	実人数計	延べ受診人数
27	8	35	175
10	6	16	71

**2. 診療科別件数**

内科	精神科	小児科	外科	整形外科	産婦人科	眼科
59	24	0	17	45	1	29
40	3	1	10	10	1	6

**3. 依頼者別件数**

福祉事務所	社会福祉協議 会・福祉公社	難民支援	ホームレス 支援団体	他病院	その他	合計
39	80	31	0	0	25	175
10	10	52	1	0	10	128

【職 員】 2019 年度年度始め・年度末職員数及び退任・就任状況

区分	2019 年 4 月 1 日 の職員数			年間退任・就任						2020 年 3 月 31 日 の職員数		
	正職員	非常勤職員	嘱託	正職員		非常勤職員		嘱託		正職員	非常勤職員	嘱託
				就任	退任	就任	退任	就任	退任			
院 長	1									1		
副院長	2									2		
医 師	21	45	5	1	2	10	5			21	54	5
助産師	10	8		1	2	7	7			10	8	
看護師	79	44	1	22	14	6	4	1		81	44	2
准看護師	1	4								1	3	
看護助手	17	2	2		6					12	2	2
薬剤師	4	2		1						5	2	
放射線技師	7		1							7		1
臨床検査技師	8	2	1							8	2	1
PT・OT・ST	13	6		1			1			13	6	
栄養士	7			3	2					6		
MSW	6									6		
事務部	22	13	1				1			22	12	1
施 設	3									3		
その他	14	20		4	3		37			15	17	
合 計	215	145	11	33	29	23	21	1	0	213	150	12

注：就任・退任数には4月1日就任数及び3月31日退任数を含む

事務部の人数は（事務部長・総務課・経理・医事課）

その他の人数は（看護部長室・ORT・診療技術部助手・調理師・調理員・心理士  
・保育士等）

【患者動向】

2019年度診療科別患者状況

区 分	入 院		外 来	
	一日平均患者数 (人)	一日平均診療単価 (円)	一日平均患者数 (人)	一日平均診療単価 (円)
内科	39.9	29,754	129.8	7,257
	41.4	28,929	139.2	7,385
精神神経科	—	—	38.5	5,310
			39.1	5,388
小児科	1.9	32,474	55.4	5,059
	3.1	30,309	60.6	4,804
外科	8.5	34,193	18.9	6,246
	8.5	31,572	17.5	6,148
整形外科	28.7	46,685	55.4	8,478
	32.1	45,680	52.6	7,713
産婦人科	16.4	82,022	41.8	6,580
	19.1	76,002	47.6	6,635
眼科	1.1	98,464	28.7	6,017
	1.1	96,351	28.6	5,633
ホスピスコ	14.7	46,574	2.8	15,731
	14.7	46,233	1.9	5,932
ホスピス内科	2.9	29,164	—	—
	1.6	25,061		
療養	34.4	18,218	—	—
	33.0	18,346		
計	148.5	38,585	367.3	6,729
	154.7	38,234	387.0	6,539

注：上段 2019年度 下段 2018年度

**【2019 年度機器等整備状況】**

機 器 等 名	数量	新設・更新・増設・修繕	整備部署
脊椎開創器	1	更新	整形外科
超音波診断装置	1	更新	産婦人科
分娩監視装置	1	更新	南 2 階病棟
超音波白内障手術装置	1	更新	眼科
マルチカラーレーザー	1	更新	眼科
眼底カメラ	1	更新	眼科
分娩監視装置	1	更新	南 2 階病棟
ベッドサイド心電図モニター	3	更新	南 3、北 4、療養
トイレ離座検知システム	2	更新	南 3、北 4
心電計	1	更新	検査科
複合機	2	更新	総務、栄養
カーテン入れ替え	1	更新	総務課
軽自動車	1	更新	総務課
直流電源装置整備	1	更新	施設課
パソコン	14	更新	事務部長室他

**【2019 年度施設・設備整備状況】**

改修・修繕（修理）・模様替え・補修
北棟エアコン更新
ホスピス棟南ウイングエアコン更新
ホスピス冷却水ポンプ交換
エアコン修理（外来、ドック室、北 4、療養、分娩室、栄養科、南 3、手術室）
直流電源装置整流器冷却ファン交換

**【2019 年度教育研修実施状況】**

研修名（研修タイトル）	年月日	開催場所	出席者数
新入職員研修会	2019. 4. 1～2	第 1 会議室	20 名

救命処置訓練	2019. 6. 25	リハビリ室	39名
がんばろう手指衛生	2019. 6. 26	第1会議室	20名
医療安全管理研修会 患者トラブルを避ける接遇とは	2019. 10. 16	戸塚ホール	48名
吐物処理研修	2019. 11. 12	第1会議室	23名
脆弱な皮膚へのアプローチ	2019. 11. 8	図書室	20名
腸内細菌を味方に ～腸から健康を考える～	2019. 11. 20	戸塚ホール	24名
スピリチュアル研修 スピリチュアルケアとは	2019. 12. 6	第1会議室	26名
吐物処理研修	2019. 12. 10	第1会議室	16名
医療倫理と患者の権利 ～個人情報保護を中心に～	2019. 1. 22	戸塚ホール	21名
スピリチュアル研修 涙も笑いも力になる	2020. 2. 7	戸塚ホール	30名

#### 【市民講座】

研修内容	年月日	開催場所	出席者数
① 便秘について ② 腸のリズムを整えよう	2019. 6. 22	戸塚ホール	10名
① インフルエンザについて ② 知ろう守ろう抗菌薬	2019. 11. 30	〃	19名

<2019年度さくらまち保育所>

項 目	実 績
保育児数	保育児延べ数 1,498 人（前年度 1,566 人）
	平日 1,442 人、休日 56 人（前年度平日 1,336 人、休日 21 人）
24 時間保育	延べ回数 12 回（前年度 55 回）
	延べ保育児数 17 人（前年度 57 人）
職員数	延べ数 1,395 人（前年度 1,357 人）
行事等	定期健康診断 5 月、11 月

<2019年度桜町児童ショートステイ>

項 目	実 績
短期入所 利用者数	370 人（前年度 365 人）
利用日数	1,029 日（前年度 1,081 日）
日中一時支援利用者数	142 人（前年度 131 人）
利用日数	215 日（前年度 197 日）
利用者住所地	小金井市、小平市、西東京市、武蔵野市

<2019年度病児病後児（さくらんぼ）保育室>（2019.11.21 開設）

項 目	実 績
保育児数	保育児延べ数 23 人
職員数	延べ数 38 人

## 4. 公益事業部門

### I 小金井訪問看護ステーション（訪問看護）

#### 【2019年度利用状況報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
医保利用者	12	11	11	14	12	11	11	12	12	12	12	13	
訪問件数	58	59	48	69	53	40	43	42	47	38	48	54	599
介保利用者	39	39	35	35	36	36	36	36	36	37	36	38	
訪問件数	172	171	159	165	167	160	177	175	170	169	158	198	2041
介護予防者	4	4	5	5	5	6	6	7	9	7	7	5	
訪問件数	14	15	18	20	19	20	24	23	33	25	24	18	253
(訪問リハ件数)	22	21	18	24	24	17	21	18	19	17	14	22	
訪問件数全体計	266	266	243	278	263	237	265	258	269	249	244	292	3130

#### 【職員】

	2019年4月1日 の職員数			年間退任・就任						2020年4月1日 の職員数		
	正職員	非常勤職員	合計	正職員		非常勤職員		合計		正職員	非常勤職員	合計
就任				退任	就任	退任	就任	退任				
所長	1名		1名					0	0	1名		1名
看護師	2名	2名	4名	1				1	0	3名	2名	5名
合計	3名	2名	5名	1				1	0	4名	2名	6名

#### 【施設運営状況】

- ・2019年度は24時間対応とするシステムをとったこと、常勤職員の採用により、昨年度に比べ新規利用者数を増やすことに繋がった。新規利用者の特徴としては、癌が主疾患であり、病院を退院する際に依頼を受け、一人暮らしの方へ訪問を行うことが増えている。また終了者の特徴としては、主疾患が癌であり、体調変化により入院、亡くられる方が多かった。終了者の訪問期間は3か月未満の方が多く、訪問依頼が多くても終了する方も増えている現状にある。途中、常勤職員の病欠により2か月ほど通常の業務ができない期間があり、新たな癌末期の方の依頼が受けられないことがあった。新規の依頼を受ける時は面接、契約、ケアマネとの会議、記録、パソコン画面への入力などの業務がある。新規依頼への対応を増やすためには、まずは職員の健康管理と、多様な業務の見直しが必要である。そして、癌の患者は特に病状変化が激しい特徴もあり、頻回な訪問となる。これら重症度の高い利用者に対応していくことは、訪問件数の増加、ひいては経営安定につながると考えられ、対応できる体制づくりが課題である。
- ・病院・在宅と切れ目のない連携を目指し、病院看護師の研修を受けたこと、退院後在宅での利用者の様子を文書で退院した病棟に渡すことを行った。また病院のリハビリスタッフの派遣は、病



院側の事情により回数を減らすこととなったが、継続した事業となった。

新規依頼の中には、障害部門の方より直接依頼を受けたケースが1名あった。これはお互いの役割を理解することに繋がり、連携をより深めることになっている。

ヨハネ会の各部門との連携が、利用者への細やかな支援、迅速な支援に繋がると考え、今後もより具体的な方法を検討し実践していくこととする。

#### 【利用者支援状況】

1. 利用者数（年間登録者）… 90名（男35名 女55名）※前年度74名
2. 利用者の住所…小金井市89名 西東京市1名
3. 主治医（利用者 90名）  
桜町病院 43名（前年度より+3名）  
その他の医療機関病院 17名（前年度より+8名）・市内の開業医院 16名（前年度より+4名）・他市の開業医院 2名（前年度より-1名） 訪問診療 12名（前年度より+2名）
4. 新規利用者紹介もと  
2019年度新規利用者 41名（前年度26名）

包括	ケアマネ	医療機関	市役所	その他
5	14	18	1	3

※桜町病院主治医 22名

5. 訪問終了者 35名（前年度 25名）

終了理由

死亡	入院	特養・グループホーム	有料ホーム	その他サービスへ移行	他STへ移行	その他
12	10	1	3	4	1	4

#### 【教育研修】

- ・東京有明医療大学看護部学生実習受け入れ（5名）
- ・桜町病院看護師研修（19名）

.職員研修

研修名	年月日	主催	出席者
新入職研修	4/2～5/31	ステーション内・同行訪問	丸茂よしえ
	5/15	桜町ケアマネセンター	
	5/16	桜町病院地域連携室	
	5/20	訪問リハビリ同行訪問	
	5/21	桜町病院退院調整看護	
	5/21	きた包括	
	5/23	桜町デイサービス	
訪問看護集団指導	5/29	東京都福祉保健局	當山典子
癌疼痛管理	6/6	ステーション内	職員全員
手指衛生	6/26	桜町病院感染対策	丸茂よしえ
小金井認知症連携	9/3	小金井市介護福祉課	平山幸子
せん妄のマネジメント	9/9	桜町病院認知症認定看護	高橋真由美
癌性皮膚潰瘍	9/20	多摩総合医療センター	八木里江子
事例検討・研修報告	10/17	ステーション内	職員全員
パーキンソン病	10/24	武蔵野赤十字病院	丸茂よしえ
神経難病患者の生活	10/30	多摩府中保健所	高橋真由美
通所デイ症例報告会	2020.2/7	介護連絡会通所グループ	當山典子

## I 聖ヨハネホスピスケア研究所

### 【2019年度活動状況報告】

#### 1) ホスピスセミナー

看護学生など対象に実施。

計1回実施。 参加者41名

#### 2) 音楽療法

非常勤研究員の音楽療法士による、入院患者1人1人のニーズに応える個別の音楽療法「音楽宅配便」を、基本的に週1回実施した。

#### 3) 講演会

ケアタウン小平と共催にて実施予定だったが、新型コロナウイルスの影響により、中止となる。

予めいただいていた参加費はほとんどの方に返金した。

#### 4) ホスピスボランティア講座

聖ヨハネホスピスと共催で5月～6月の2ヶ月間に計7回の講習を実施。

参加者 35名

#### 5) 研修会の実施

主に地域医療に従事する職業を対象に、以下研修会を実施した。

「どう支える 看取りまでの1週間」

(聖ヨハネホスピスと共催 1月 三枝先生)

参加者 42名

### 【職員】

特になし。

### 【施設運営状況】

特になし。

### 【施設整備状況】

特になし。

## 5. 収益事業部門

施設名 : シニアハイムさくら (高齢者賃貸住宅)

### 【施設運営】

小金井の地で医療・介護・福祉サービスを展開している中で、入院や特養入所にいたる前の段階で小規模でも安心して生活できる場の形成が必要との考えから、高齢者賃貸住宅を提供することの意義があると考え本事業をスタートし7年目を迎えた。地域包括ケアシステムを構築する過程で老後を自宅又は小金井市内にて居住したいとの要望は大変高いが、全くの在宅独居の生活は不安だという高齢者の方の住まいが求められており、高齢福祉部門としても介護保険事業だけでは本来目指そうとしている高齢者の安心につながるサポートを充実できないという考えでこの事業を開始した。対象者は自立された方で在宅介護サービスを利用し自立生活可能な方とし、介護スタッフは配置せず管理人を配置し、ケアマネジャーは桜町ケアマネジメントセンターが基本的に受け持つという基本方針で進めることとなった。

これまでの経験から、利用者の前住居の整理、荷物の取捨選択といったところに時間をかなり要することがわかってきた。また入居後に身体の衰えなどで特養への入所に移ってしまうケースも予想していた以上に多いということがわかった。今年度は昨年度から3名が減り、20%の入所率となった。

居室は全個室で5戸。現在、2名の受付ボランティアが月曜日～土曜日の10:30～16:00常駐し対応して頂いている。今後は、法人内のサービス連携（デイサービス、配食等）をより具体的に進めていきたい。

### 【2019年度利用状況報告】

種別	定員	1日平均利用者数	2018年度利用率
シニアハイムさくら	5室	1名	20.0%

### 【施設整備状況】

特になし

## 三 理事会

第 312 回 2019 年 6 月 5 日（水）

(1) 報告事項

報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告について（下半期実績報告）

(2) 決議事項

第 1 号議案 2018 年度監事監査報告の承認の件

第 2 号議案 2018 年度事業報告及び計算書類等の承認の件

第 3 号議案 社会福祉充実残額の承認の件

第 4 号議案 施設長等人事の承認の件

1) 高齢福祉部門統括施設長

2) 桜町聖ヨハネホーム園長

3) 桜町聖ヨハネホーム副園長

第 5 号議案 新役員候補者の選出の件

第 6 号議案 諸規程の制定及び改訂の件

1) 富士北麓聖ヨハネ支援センター 運営規程

2) 障害福祉部門職員給与規程

第 7 号議案 他法人（聖ヨハネ修道会）からの借入の承認の件

第 8 号議案 定款変更認可申請の承認の件

第 9 号議案 定時評議員会の招集事項の決定の件

第 313 回 2019 年 6 月 21 日（金）

(1) 決議事項

第 1 号議案 新理事長の互選の件

第 2 号議案 新業務執行理事の互選の件

第 314 回 2019 年 9 月 17 日（火）

(1) 報告事項

報告事項 1 都留労働基準監督署からの是正勧告の件

(2) 決議事項

第 1 号議案 富士聖ヨハネ学園虐待通報の件

第 2 号議案 梶野町国有地の件

第 3 号議案 諸規程の制定及び改訂の件

1) 障害福祉部門職員給与規程

第 315 回 2019 年 11 月 13 日（水）

(1) 報告事項

報告事項 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告の件（上半期実績報告）

(2) 決議事項

第 1 号議案 2019 年度補正予算の承認の件

- 第2号議案 諸規程の制定及び改訂の件
- 1) 障害福祉部門 正規職員就業規則
  - 2) " 非正規職員就業規則
  - 3) " 正規職員給与規程
  - 4) " 非正規職員給与規程
  - 5) 桜町病院 職員給与規程
  - 6) Facebook 運用規程
- 第3号議案 基本財産処分申請の承認の件
- 第4号議案 定款変更認可申請の承認の件
- 第5号議案 評議員会の招集事項決定の件

理事会決議の省略 2019年11月22日(金)

(1) 決議事項

- 第1号議案 積立金の取り崩しの承認の件

第316回 2020年1月22日(水)

(1) 報告事項

- 報告事項1 会計監査(中間)における検討事項の件

(2) 決議事項

- 第1号議案 緑町聖ヨハネケアビレッジの入札・発注条件の承認の件
- 第2号議案 諸規程の制定及び改訂の件
- 1) 内部通報規程(高齢・障害)

第317回 2020年3月18日(水)

(1) 決議事項

- 第1号議案 中期経営計画(2020年度-2022年度)の承認の件

- 第2号議案 2020年度事業計画及び予算の承認の件

- 第3号議案 諸規程の制定及び改訂について

- ① 内部通報規程(高齢・障害)
- ② 危機管理規程(高齢・障害)
- ③ 小金井聖ヨハネケアビレッジ運営規程
- ④ 障害福祉部門正規職員就業規則
- ⑤ " 非正規職員就業規則
- ⑥ " 非正規職員給与規程
- ⑦ 高齢福祉部門就業規則
- ⑧ " 非常勤就業規則
- ⑨ 経理規程

- 第4号議案 理事候補者の推薦の件

- 第5号議案 緑町聖ヨハネケアビレッジ新築工事予定価格決定の件

- 第6号議案 評議員会の招集事項決定の件

- 第7号議案 施設長等の人事の件

## 四 評議員会

第97回 2019年6月21日(金)

(1) 報告事項

報告事項1 2018年度監事監査報告の件

報告事項2 2018年度事業報告の件

(2) 決議事項

第1号議案 2018年度計算書類等の承認の件

第2号議案 社会福祉充実残額の承認の件

第3号議案 新役員の選任の件

第4号議案 定款変更認可申請の承認の件

第98回 2019年12月4日(水)

(1) 決議事項

第1号議案 2019年度補正予算の承認の件

第2号議案 基本財産処分申請の承認の件

第3号議案 定款変更認可申請の承認の件

第99回 2020年3月31日(火) 決議の省略

(1) 決議事項

第1号議案 中期経営計画(2020年度-2022年度)の承認の件

第2号議案 2020年度事業計画及び予算の承認の件

第3号議案 新理事の選任の件

## 五 経営会議

2019年4月24日（水）開催

### 【報告事項】

- (1) 月次報告（2019年2月度）について
- (2) 寄付金報告について
- (3) 合同研修アンケート報告
- (4) 桜町ヨハネ祭支援金報告
- (5) 魅力発信チーム活動報告

### 【議案】

- (1) 障害者雇用について
- (2) 敷地内禁煙の取り扱いについて
- (3) 改元に伴う年度表示について
- (4) 病児保育事業入札について
- (5) 備品管理について
- (6) ホームページの閲覧分析について
- (7) 法人合同研修について

2019年5月22日（水）開催

### 【報告事項】

- (1) 月次報告（2019年3月度）について
- (2) ホームページの閲覧分析について

### 【議案】

- (1) 障害者雇用について
- (2) 敷地内禁煙の取り扱いについて
- (3) 夏のレクリエーションについて
- (4) 施設長等人事について
- (5) 諸規程の制定及び改訂について  
(ア) 障害福祉部門職員給与規程
- (6) 決算報告について

2019年6月26日（水）開催

### 【報告事項】

- (1) 月次報告（2019年4月度）について
- (2) 寄附金報告について
- (3) レクリエーション費用負担について
- (4) 法人合同研修について

### 【議案】

- (1) 処遇改善加算の考え方について
- (2) Facebook 運用規程について



- (3)農業×福祉について
- (4)ホームページリニューアルについて
- (5)グループウェアの検討について
- (6)内部監査の実施について
- (7)敷地内禁煙開始について

2019年7月24日（水）開催

**【報告事項】**

- (1)月次報告（2019年5月度）について
- (2)寄附金報告について
- (3)ホームページアクセス解析について
- (4)労基署の調査に関する報告について（障害福祉部門山梨事業所）

**【議案】**

- (1)処遇改善加算の考え方について（高齢福祉部門）
- (2)物品購入の基準等について
- (3)自動車保険について
- (4)ホームページリニューアルについて
- (5)グループウェアの検討について
- (6)桜町聖ヨハネ祭に関する検討事項について
- (7)戸塚神父命日について

2019年9月25日（水）開催

**【報告事項】**

- (1)月次報告（2019年6～7月度）について
- (2)寄附金報告について
- (3)ホームページアクセス解析について
- (4)自動車保険契約について

**【議案】**

- (1)援農について
- (2)労基署監督指導について
- (3)虐待通報について
- (4)中期経営計画について

2019年9月25日（水）開催

**【報告事項】**

- (1)月次報告（2019年8月度）について
- (2)寄附金報告について
- (3)ホームページアクセス解析について

**【議案】**

- (1)消費税率変更に伴う請求書への表記について
- (2)病児・病後児保育事業についてについて
- (3)ホームページリニューアルについて

#### (4)2019 年度補正予算について

2019 年 11 月 18 日（水）開催

##### 【報告事項】

- (1)月次報告（2019 年 9 月度）について
- (2)法人レクリエーション報告
- (3)ホームページリニューアルについて

##### 【議 案】

- (1)職場紹介の開催について
- (2)各事業の資金繰り状況と対応について

2019 年 12 月 25 日（水）開催

##### 【報告事項】

- (1)月次報告（2019 年 10 月度）について
- (2)理事長年頭挨拶の中止について
- (3)ボーリング大会会計報告について
- (4)桜町ヨハネ祭会計報告について
- (5)寄附金内訳報告について
- (6)魅力発信チーム活動報告について

##### 【議 案】

- (1)運用資金の取り扱いについて
  - (ア) 病院会計への繰り入れ
  - (イ) ヨハネホーム積立金取り崩し
- (2)会計監査（中間）における監査人からの指摘事項について
- (3)諸規程の制定及び改訂について
  - (ア) 内部通報規程（高齢・障害）
    - ① 危機管理規程（高齢・障害）
- (4)2020 年度職員計画について
- (5)中期経営計画案（2020－2022 年度）について

2020 年 1 月 22 日（水）開催

##### 【報告事項】

- (1)月次報告（2019 年 11 月度）について
- (2)寄附金内訳報告について
- (3)社会福祉法人再編の情報について

##### 【議 案】

- (1)会計監査（中間）における監査人からの指摘事項について
- (2)2020 年度職員計画について
- (3)相続による寄附金の取り扱いについて
- (4)事業計画・予算ヒヤリング日程について

2020年2月26日（水）開催

**【報告事項】**

- (1)月次報告（2019年12月度）について
- (2)新型コロナウイルスについて
- (3)資金繰り状況について（病院、ホーム）

**【議 案】**

- (1)中期経営計画について
- (2)富士聖ヨハネ学園の不適切ケアの最終報告について
- (3)諸規程の制定及び改訂について
  - 1. 内部通報規程（高齢・障害）
  - 2. 危機管理規程（高齢・障害）
    - (ウ) 小金井聖ヨハネケアービレッジ運営規程
    - (エ) 障害福祉部門正規職員就業規則
    - (オ)       "       非正規職員就業規則
    - (カ)       "       非正規職員給与規程
- (4)障害福祉部門 ICT 機器導入に関するモデル事業について